

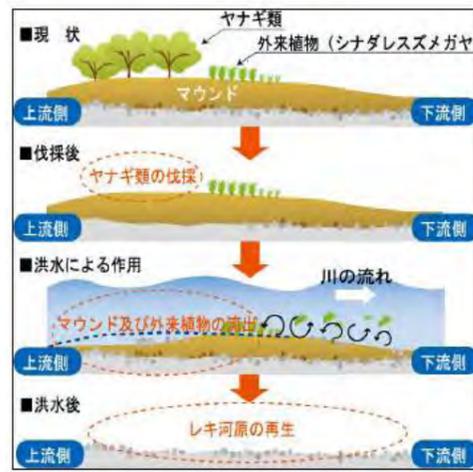
【事業の概要】

事業名	吉野川レキ河原の保全・再生		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成15～17年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	吉野川中流域		
連携機関	—		
事業の概要	吉野川の河川環境を特徴付ける一要素となるレキ河原では、近年、河道内樹木の分布拡大にあわせて外来植物であるシナダレスズメガヤの著しい繁茂が進み、その環境に依存して生息・生育している在来種への影響が懸念されている。そのため、洪水の営力により動的に維持される健全なレキ河川の再生に向け、河道内樹木の伐採等を実施するものである。		
主な事業箇所と内容	・西条大橋地区下流(ヤナギ伐採試験)		
事業の効果	試験施工地でのモニタリングにより、洪水後にシナダレスズメガヤが侵入・定着しにくい環境の形成が確認され、有効な効果の一つであることが確認されている。今後の対策実施箇所については、優先度を勘案しながら決定することとなっている。		

【参照】

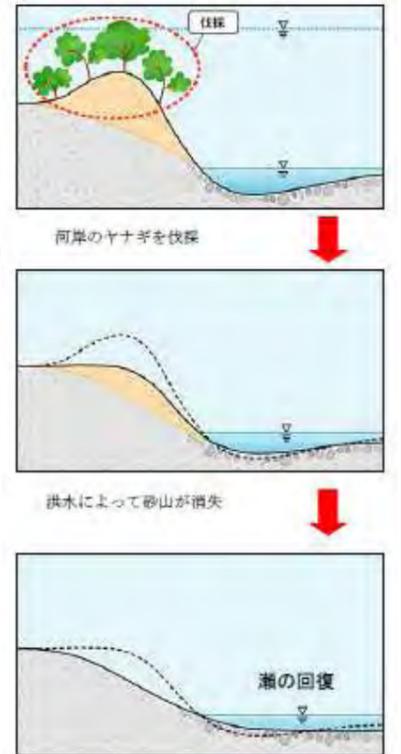
URL	http://www.toku-mlit.go.jp/river/kangaeru/yoriyoikawa/shinadare/shinadare.htm
参考文献	吉野川水系河川整備計画【原案】

【概要図等】



レキ河川再生のイメージ図

水際環境再生のイメージ図



【事業の概要】

事業名	長安ロダム改造事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成3年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	那賀川水系長安ロダム上流及び下流域		
連携機関	徳島県		
事業の概要	徳島県がダムの管理を行っていた平成3年度より長安ロダムの堆砂の下流河川への還元が試験的に実施されている。今後は、長安ロダムの改造に伴う河道内掘削により発生する砂レキをダム下流の河道内に運搬し、洪水時に砂レキが下流へ供給されることによって、動植物の生息生育環境の改善を図るものである。		
主な事業箇所と内容	・土砂の除去：長安ダム貯水池上流 ・置き砂利：小浜、桜谷、川口下流、朝生		
事業の効果	定量的な効果判定には至っていないものの、環境が良くなり魚が増えたなど、地元関係者からは一定の評価を得ている。また、今後の還元場所・方法を検討するための洪水時流下状況の把握や、下流河道における物理・生物環境のモニタリング調査を実施している。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/
参考文献	・那賀川水系河川整備計画 ・置き土シンポジウム発表資料(長安ロダムからの実施報告)

【概要図等】

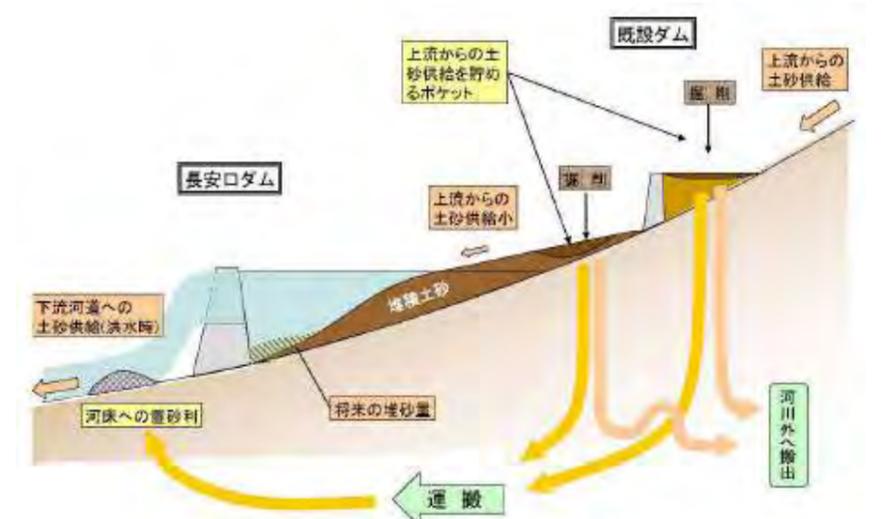


図-2.2 長安ロダムにおける堆砂対策イメージ



図-3.1 現在までの還元位置

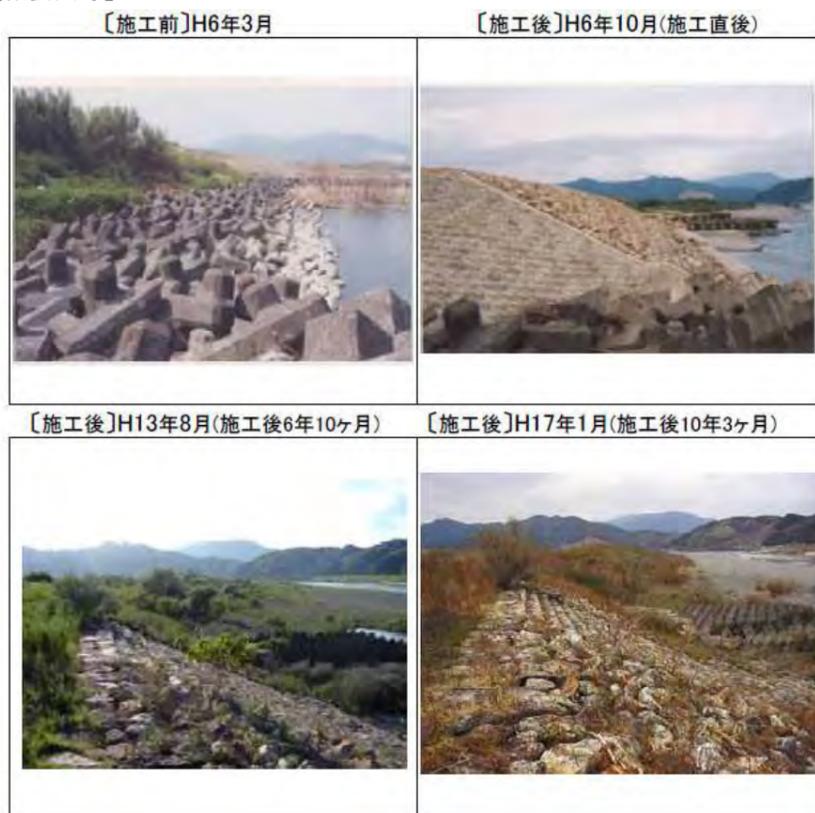
【事業の概要】

事業名	那賀川多自然型川づくり		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成5年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	那賀川阿南市下大野町大野地先		
連携機関	なし		
事業の概要	局所洗堀対策として実施する河川敷整備にあたり、水域に接する区域については、水生生物の生息・生育環境に配慮した環境を形成する多自然型川づくりを基本とした整備を実施している。 当該箇所の護岸には自然石を利用するとともに、堤内側への地下水の供給源となっていることから、低水護岸の根入には透水性の沈床ブロックを採用している。		
主な事業箇所と内容	那賀川 9.2km		
事業の効果	平成13年度に石張りの中へヤナギの挿し木を行っており、現在はヤナギが生長し、石張りがほとんど見えない自然護岸に近い状況となっている。		

【参照】

URL	—
参考文献	那賀川水系河川整備計画、多自然型護岸整備事例集

【概要図等】



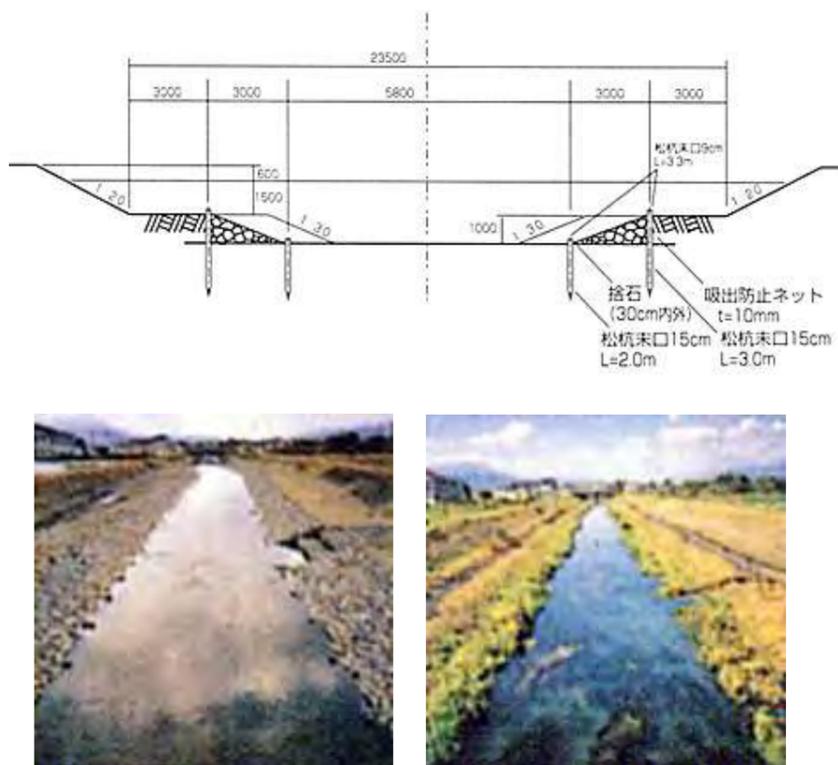
【事業の概要】

事業名	江川多自然川づくり		
実施主体	徳島県	事業年度	平成3～6年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	江川(鴨島町 1.0km 区間)		
連携機関	—		
事業の概要	低水路部で河道を不規則に蛇行させることにより流れに変化を与え、自然に近い景観にしている。また、水面部においては護岸工を施工し堤体の安定を図っている。 詰杭工護岸は木材、石材の自然素材を使用。低水護岸は不規則な形状の自然石を空積みして空隙をつくり、魚や小動物のすみかを作り出している。		
主な事業箇所と内容	徳島県麻植郡鴨島町牛島		
事業の効果	周辺の開発でヘドロが堆積するドブ川であったが、事業の実施により、数十センチのコイや、フナやハヤなど小魚をはじめ、アオサギなどの生息が確認されている。		

【参照】

URL	http://doboku.pref.tokushima.jp/05taskinfo/02river/taisaku/default.htm#river
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】	
事業名	宮川内谷川土木環境共生事業
実施主体	徳島県 事業年度 平成6～17年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)
対象区域	宮川内谷川 5.0km
連携機関	—
事業の概要	宮川内谷川は、変化に富み多様性を持つ川本来の姿が損なわれていないため、川のコリドー(回廊)としての機能や水辺の多様性の回復に加え、人の暮らしとの関わりといった視点から、変化に富んだ環境を作り出しつなげていく川づくりを実施したものである。
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> 河畔林植樹祭の実施 緩傾斜護岸の整備 水制工の設置 階段式斜路工 ビオトープ公園(なかよしランド)の整備等
事業の効果	階段式斜路工実施後のモニタリングでは、動植物の種類、個体数の増加や魚の上下流移動が見られ、生態系復元の効果が確認されている。

【概要図等】

緩傾斜護岸

階段式斜路工

ビオトープ公園と緩傾斜護岸

ビオトープ公園

【参照】

URL	<ul style="list-style-type: none"> http://doboku.pref.tokushima.jp/05taskinfo/11tech/02kankyo/default.htm#jissi http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/html/case.html
参考文献	土木環境共生事業宮川内谷川事業概要

【事業の概要】	
事業名	穴吹川通常砂防事業
実施主体	徳島県 事業年度 平成19年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：水生生物)
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)
対象区域	穴吹川
連携機関	—
事業の概要	<p>砂防事業は、山地や溪流の自然環境の良好な箇所で実施することが多いため、計画段階から森林への影響や溪流環境の改変を最小限とするとともに、濁水の抑制、排ガス対策等、施工段階においても自然環境への影響に配慮している。</p> <p>生物多様性への配慮として、魚道は、最適な生息環境を実現するため隔壁型からハーフコーンに変更した。また、自然石の利用により、自然に調和した景観の創出をはかるとともに、自然とのふれあいを促進するため、護岸を緩傾斜化し、水際へのアプローチを可能とした。</p>
主な事業箇所と内容	徳島県美馬市木屋平川上
事業の効果	中央にハーフコーン型魚道を設置したことにより、魚類などの水生生物の移動を容易にすることが期待できるなど、生物多様性への配慮がなされた。

【概要図等】

位置図・平面図等

写真、図面等

計画平面図

標準断面図

復設水路

整備状況

既設ブロックの現地再利用

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【事業の概要】

事業名	園瀬川広域河川改修事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成17年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: シオマネキ)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	園瀬川(徳島県徳島市八万町)		
連携機関	—		
事業の概要	園瀬川において、築堤により無堤区間を解消し、洪水被害の低減を図るための事業であるが、シオマネキ等の生息地に配慮し、起業地で採取したシオマネキを工事の影響を受けにくい下流側のワンドへ移動させるとともに、掘削時に仮置していたアシを含んだ表土を再利用したものである。		
主な事業箇所と内容	園瀬川徳島県徳島市八万町地先: シオマネキの移動		
事業の効果	施工後のモニタリング調査により、シオマネキの個体数が大幅増加が確認されており、生息地の保全が図られている。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	徳島県平成19年度モニタリング報告書

【概要図等】

位置図・平面図等

写真

【事業の概要】

事業名	日和佐川河川特殊改良事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成19年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: シバナ)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	日和佐川(徳島県海部郡美波町奥河内)		
連携機関	—		
事業の概要	日和佐川において洗掘防止工事を実施するにあたり、当初はブロック等の運搬に際し、周辺住民への影響を考慮し、右岸上流からのルートを計画し、シバナ生育地やその前面に盛土を行い、工事用道路を設置する予定であった。 しかし工事用道路による直接もしくは、潮汐の水流を妨げる高盛土によりシバナの消失が懸念されたため、専門家のアドバイスに基づいて工法の検討を行い、走行速度の低減により周辺環境への影響を最小限にした結果、住民の理解を得ることができ、右岸下流からのルート変更が可能となり、生育地②、③のシバナへの影響はほとんどなくなった。		
主な事業箇所と内容	日和佐川徳島県海部郡美波町奥河内地先: 洗掘防止工事		
事業の効果	施工にあたり、高盛土をやめ、敷砂利にすることで、生育地①シバナへの潮汐による水流を妨げないこととした。これにより、シバナ生育場所の消失を回避できた。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【概要図等】

位置図・平面図等

写真

【事業の概要】

事業名	土器川生物公園整備事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成7年度～実施中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: ホタル他)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	土器川生物公園		
連携機関	丸亀市		
事業の概要	土器川生物公園は、霞堤の内部を対象に、「自然の中でのやすらぎとふれあい」をテーマに霞堤内部に憩いとやすらぎの場を創出することを目的に平成7年度より事業を実施している。		
主な事業箇所と内容	生物公園上流部：自然石及び松杭設置水路工		
事業の効果	平成9年に部分開園以降、四国のみずべ八十八ヶ所に選定されるなど、校外学習や散策、イベントなど、屋外活動の拠点となっており、年間約2万5千人の利用者がいる。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/panf/kouen/kouen.htm
参考文献	「四国技報」第4巻7号

【概要図等】



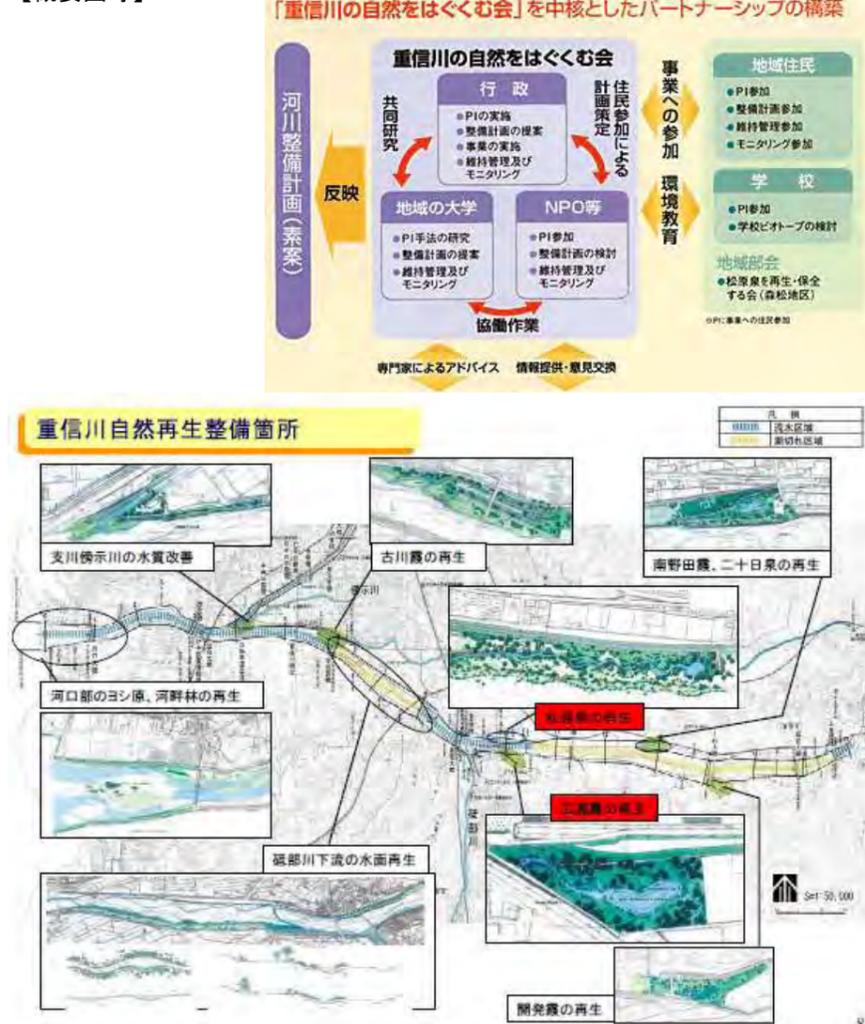
【事業の概要】

事業名	重信川自然再生事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成14年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	重信川水系(愛媛県松山市、伊予市、東温市、砥部町、松前町)		
連携機関	重信川の自然を育む会(国、県、流域市町村、大学、NPO等で構成)、地域住民、学校等		
事業の概要	自然に満ちあふれた昔の重信川を取り戻そうと、地域住民、NPOなどの団体、地域の大学、行政がひとつになって「重信川の自然を育む会」を設立。はぐくむ会で、住民の意見や専門家のアドバイスなどを踏まえて、重信川再生に向けた計画・活動を取りまとめた「重信川いきいきネットワーク計画」を策定し、河川整備計画への反映を図っている。		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松原泉の再生 ・支川傍示川の水質改善 ・南野田霞、二十日泉の再生 ・河口部のヨシ原、河畔林の再生 ・広瀬霞の湿地再生 ・古川霞の再生 ・開発霞の再生 ・砥部川下流の水面再生 ※下線の実施事業については個別シート参照		
事業の効果	重信川を軸とした水と緑のネットワークの形成と、重信川を媒体とした自然と人、人と人がふれあう交流と学習の場の形成		

【参照】

URL	<ul style="list-style-type: none"> ・ http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/kawakankyuu.html ・ http://www.soil.cee.ehime-u.ac.jp/shigenobu/
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・「四国技報」第7巻13号、第4巻8号 ・美しい四国づくり第2回委員会資料

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	重信川自然再生事業《松原泉の再生》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成16年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：湿地環境と湿地に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	重信川水系(愛媛県松山市、伊予市、東温市、砥部町、松前町)		
連携機関	重信川の自然をはぐくむ会(国、県、流域市町村、大学、NPO等で構成)、地域住民、学校等		
事業の概要	<p>昭和30年代の河川工事において埋め立てられ、運動公園や広場として利用されてきた松原泉において、かつての松原泉を再生するとともに、松原泉と重信川をつなぐ小川を再生し、はぐくむ会のサポートを得ながら本川との合流地点の湿地環境の再生を行うことにより、水と緑のネットワーク拡大を図った。</p> <p>また、最初から人為的に完成形を作り上げず、必要最小限の基盤整備を行い、自然の力で年数を経て自然豊かな生息環境の復元と生物層の多様化を図った。</p>		
主な事業箇所と内容	重信川河口より約9.0km付近：泉と小川の再生		
事業の効果	動物の生息状況、植物の生育状況等のフォローアップ調査を行っており、少しずつ動植物の繁茂や移動が見られている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/kawakankyou.html http://www.soil.cee.ehime-u.ac.jp/shigenobu/
参考文献	「四国技報」第7巻13号、第4巻8号

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	重信川自然再生事業《広瀬霞の再生》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成18年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：湿地・河畔林と生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	重信川水系(愛媛県松山市、伊予市、東温市、砥部町、松前町)		
連携機関	重信川の自然を育む会(国、県、流域市町村、大学、NPO等で構成)、地域住民、学校等		
事業の概要	<p>昭和30年以前の広瀬霞は、開口部に湿地的な環境があり、重信川の生物にとって良好な生息、生育、繁殖環境であった。しかし、近年の土地利用の変化や河川改修などにもともない、湿地的な環境はなくなった。そこで、現在常時水面に残っている砥部川合流点である広瀬霞、河畔林を再生し、かつて見られた自然豊かな湿地環境の確保を目的とし、水と緑のネットワーク形成を図っている。また、霞堤内の開発を抑制することにより、治水機能の保全も図っている。</p>		
主な事業箇所と内容	重信川河口より約10.0km付近：失われた湿地環境の再生		
事業の効果	動物の生息状況、植物の生育状況等のフォローアップ調査を行っており、少しずつ動植物の繁茂や移動が見られている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/kawakankyou.html http://www.soil.cee.ehime-u.ac.jp/shigenobu/
参考文献	「四国技報」第7巻13号、第4巻8号

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	石手川環境整備事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成11～13年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	石手川、重信川合流地点上流域		
連携機関	松山市		
事業の概要	石手川の護岸は急勾配のコンクリート護岸で作られており、地域住民のニーズに応えられない環境にあるとともに、水質も重信川本川に影響するほど非常に劣悪な環境となっていた。そのため、松山市の松山中央公園整備事業と連携し、野鳥や魚類などのすみやすい自然環境を創出する水質浄化と「水と緑豊かな自然とふれあえる環境」の創出を図るため、親水護岸整備と水質浄化事業を実施したものである。		
主な事業箇所と内容	親水護岸整備：松山市市坪西地先 水質浄化事業：松山市朝生田地先		
事業の効果	親水護岸整備の効果により、整備以来利用者数が増加している。また、水質浄化事業により、年々水質が良くなっている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/river/suisitukaizen.html
参考文献	「四国技報」第2巻4号

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	山鳥坂ダム建設事業(環境影響評価)		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成元年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：ダム建設地周辺に生息する生物等)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	肱川(愛媛県大洲市肱川町山鳥坂地先)		
連携機関	—		
事業の概要	山鳥坂ダムの建設にあたり、できる限り自然環境や事業実施区域周辺の生活環境に配慮した計画とするため、環境影響評価法に基づく環境影響評価を実施している。調査の実施状況については、平成元年度からまず水質調査等に着手し、平成3年度からは対象事業実施区域やその周辺において、専門家の指導、助言を得ながら現地調査を実施している。		
主な事業箇所と内容	山鳥坂ダム建設事業予定地周辺：環境影響調査		
事業の効果	環境影響評価書の広告・縦覧の手続が完了しており、事業実施に際して継続してモニタリング調査を実施するとともに、適切な環境保全対策が講じられている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/yamatos/
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・山鳥坂ダム事業概要 ・肱川水系山鳥坂ダム建設事業環境影響評価書のあらまし

【概要図等】

■環境影響評価に係る現地調査の実施状況

調査項目	調査期間(平成)																		
	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
大気質(風向・風速)																			
騒音																			
振動																			
水質	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
哺乳類			●																
鳥類			●	●															
(猛禽類)																			
爬虫類			●																
両生類			●																
魚類			●																
昆虫類			●	●															
底生動物			●																
クモ類																			
陸産貝類																			
種子植物			●	●															
シダ植物																			
付着藻類			●																
菌苔類																			
藻類																			
高等菌類																			
上位性(注目種の生息状況等)									●										
典型性(典型的な環境等)																			
景観(主要な眺望景観)																			
人と自然との触れ合いの活動の場																			

【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり		
実施主体	国土交通省	事業年度	各事業シート参照
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	肱川水系		
連携機関	—		
事業の概要	各事業シート参照		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市長浜町大町地先(肱川本川左岸 4k/4~4k/5) ・大洲市白滝地先(肱川本川右岸 6k/0付近) ・大洲市若宮地先(肱川本川右岸 13k/4~13k/6) ・大洲市若宮地先(肱川本川左岸 15k/0~15k/2) ・大洲市中島地先(肱川本川左岸 18k/2~18k/4) 		
事業の効果	各事業シート参照		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/
参考文献	—

【概要図等】



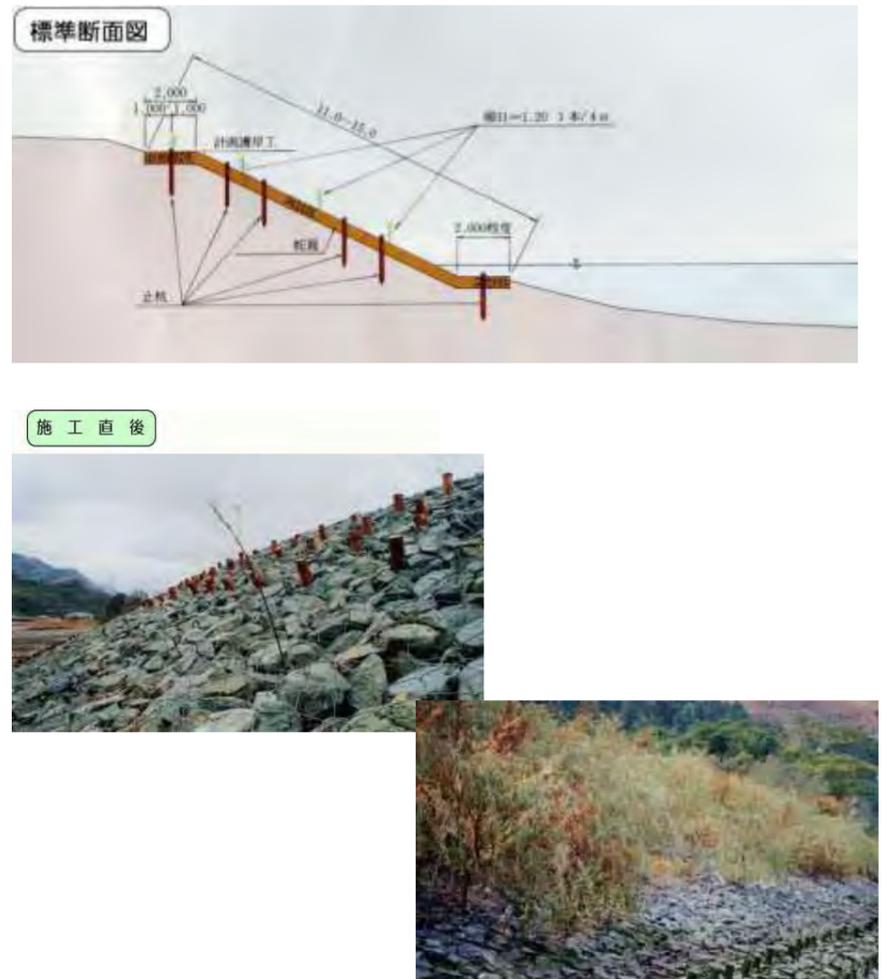
【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり《大町箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成2~3年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	大洲市長浜町大町地先		
連携機関	—		
事業の概要	<p>本施工地区は、平成2年9月発生の台風19号による洪水により、河岸洗掘及び吸い出しを受け既設低水護岸が被災したものである。</p> <p>未改修区間であり、上流は砂州が広がる自然河岸であるため、河岸洗掘を防止し、自然河岸と馴染む蛇籠工を採用した。また、その蛇籠護岸のり面部には、カワヤナギによる植栽を施し、日陰を設けることとした。</p>		
主な事業箇所と内容	肱川本川左岸 4k/4~4k/5：蛇籠護岸施工		
事業の効果	河川増水時にはカワヤナギが水際で魚の避難場所となり、また、カワヤナギの植栽によって生物の生息空間の増大が図られている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawanavi/
参考文献	—

【概要図等】



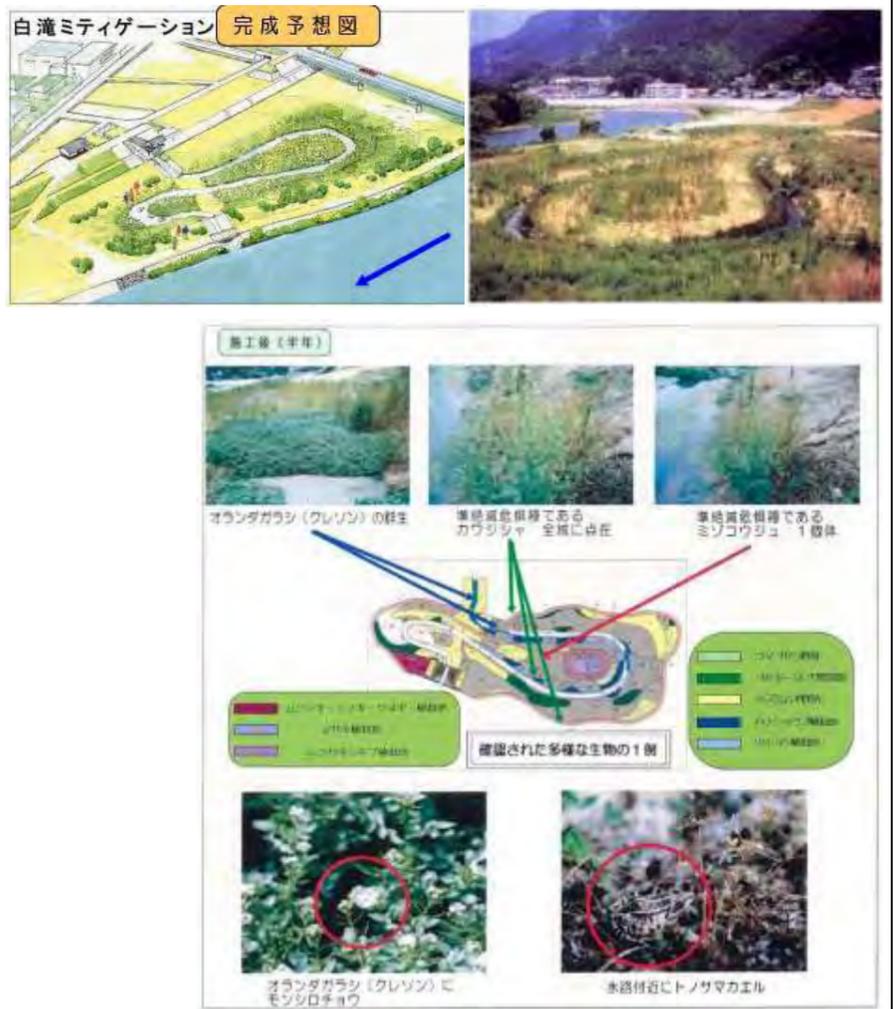
【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり「白滝箇所」		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成13年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	大洲市白滝地先		
連携機関	—		
事業の概要	本施工地区は、河川改修事業によって失われた自然環境の復元を目的に、体験学習の場となるような身近な水辺の整備として、せせらぎ等を創出し、人々が自然や文化に親しめるように、また、水辺空間を創出することにより、生物も生息するような水辺の拠点整備を行ったものである。 動植物が生殖可能な環境をつくるため、環境への適応が広く、外来種との競争にも堪えるような生育力が旺盛な植物を考慮した。また、中の島は、抽水植物から低木へのエコトーン(環境推移帯)となるよう配慮した。		
主な事業箇所と内容	肱川本川右岸6k/0付近：水辺の拠点整備		
事業の効果	施工後半年で、多様な植物が確認された。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawanavi/
参考文献	—

【概要図等】



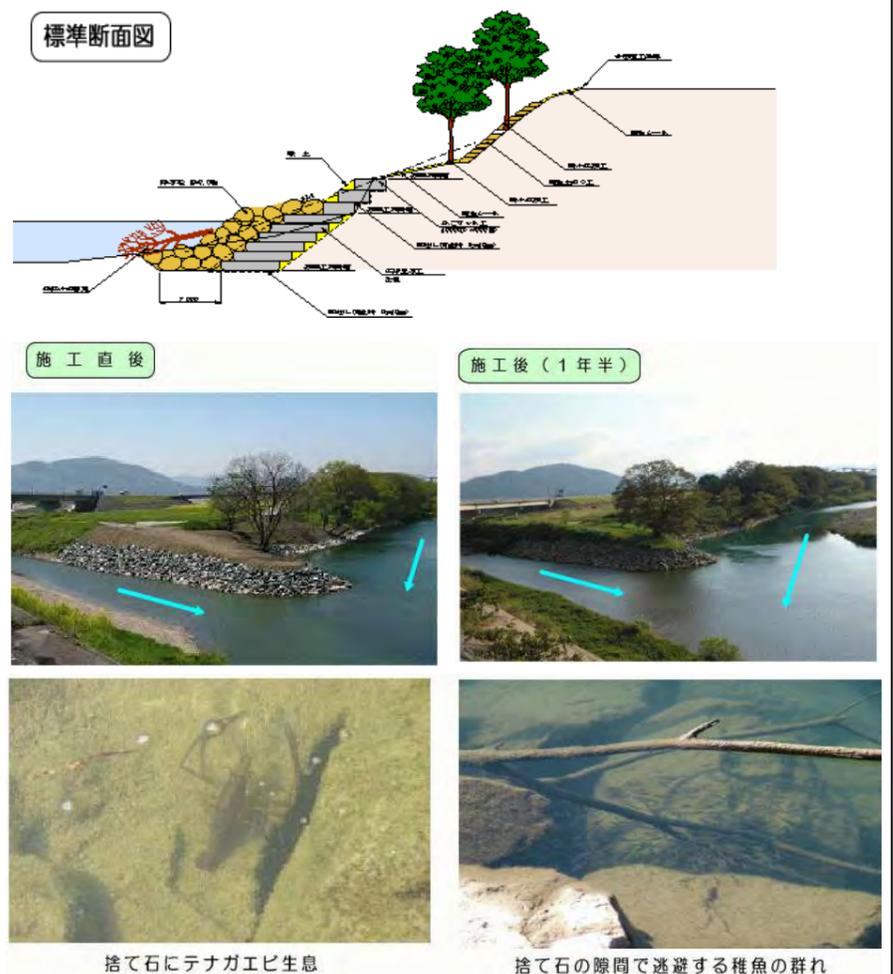
【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり「矢落川合流箇所」		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成12～13年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	愛媛県大洲市若宮地先		
連携機関	—		
事業の概要	本川肱川と支川矢落川の合流点における低水護岸工事を行ったもので、生物の生息環境保全のため、川面に差し掛かった樹木を伐採対象から外し、保護工(空石張り)を行うとともに、河道内樹木管理の観点から伐採・間伐を行った伐採木を再利用し、低水護岸の前面に固定することで、護岸の保全と水生生物の生息環境の創出を図った。また、捨石施工については、60cm内外の大洲産青石を使用し、石と石の間が密にならないように配慮した。		
主な事業箇所と内容	肱川本川右岸13k/4～13k/6：袋詰玉石工・かごマット工及び捨石工		
事業の効果	本施工については、捨石施工による魚巣効果と、伐採木の再利用による水生生物の生息環境の創出による効果が確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawanavi/
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり「若宮箇所」		
実施主体	国土交通省	事業年度	昭和51年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	大洲市若宮地先		
連携機関	—		
事業の概要	本施工地区は、昭和51年9月発生台風17号による洪水により、河岸洗掘及び吸い出しを受け既設低水護岸が被災したものである。上流は自然河岸であるため、河岸洗掘を防止し自然河岸と馴染む蛇籠工を採用した。また、蛇籠護岸施工時には、日陰を生み出すなど、生物の生息環境を醸し出している樹木は伐採しないこととした。		
主な事業箇所と内容	肱川本川左岸 15k/0～15k/2：蛇籠護岸施工		
事業の効果	自然河岸のように馴染んでおり、アユの産卵場として貴重な環境となっている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawanavi/
参考文献	—

【概要図等】



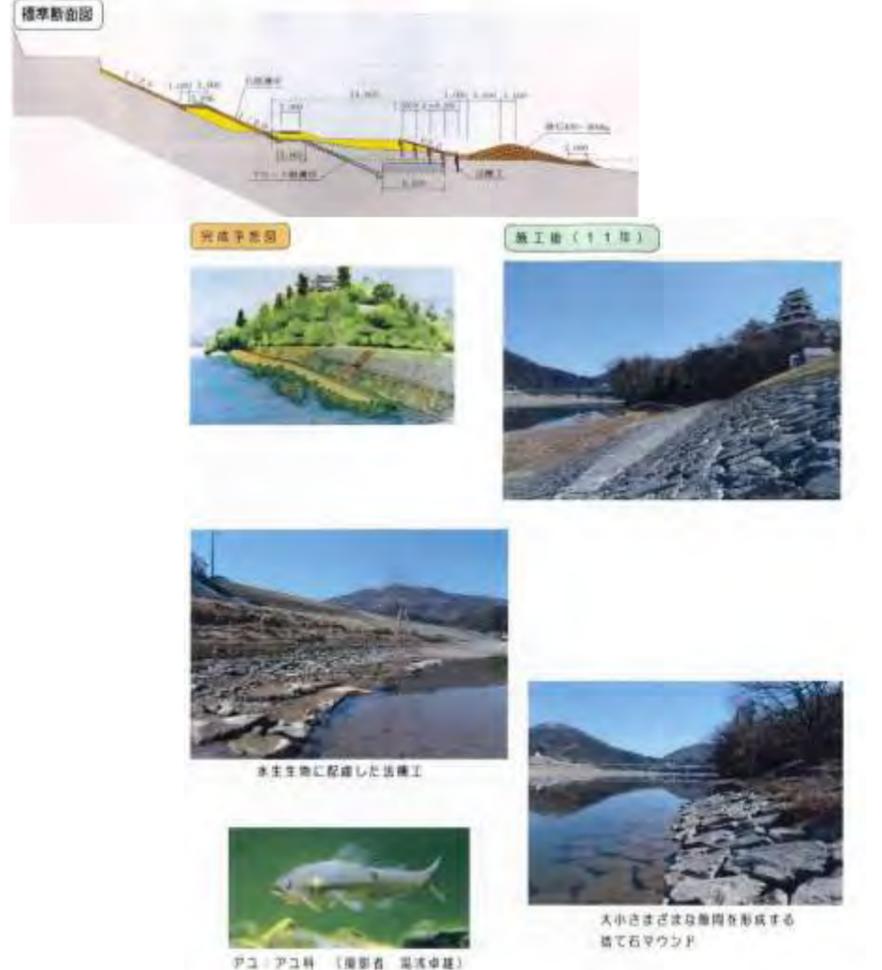
【事業の概要】

事業名	肱川の多自然型川づくり「大洲城下流箇所」		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成4～6年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	大洲市中島地先		
連携機関	—		
事業の概要	本施工地区は、大洲左岸堤防の漏水対策工事として実施する石張護岸及び、根固め工の埋戻し部分を魚や昆虫等に配慮した多自然型護岸として施工したものである。捨石マウンドは、捨石の隙間を大小さまざまな大きさになるように配慮した。これは、大小さまざまな魚が住みつくことができるように配慮したものである。法柵工については、水生生物が水面から陸上に上られるように一つの法面とした。捨石マウンドと法柵工の間は、魚が泳げるように最低の水深を0.3mとなるようにした。		
主な事業箇所と内容	肱川本川左岸 18k/2～18k/4：石張護岸及び、根固め工の埋戻し		
事業の効果	魚類や昆虫の生息環境が創出されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kawanavi/
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】

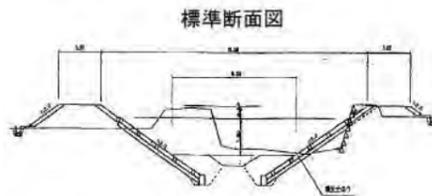
事業名	長月川総合流域防災事業（多自然川づくり）		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成7～17年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：河川に生息する生物）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	僧都川水系長月川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、長月川の治水能力の向上と植生の早期回復および既存取水堰による生態系分断を解消し、多様な生態系の形成を図ったものである 護岸は、勾配 1：2.0 の法枠ブロックで施工し、その中詰め工に植生土のうを使用することにより、植生の早期回復を図る工夫とした。また生態系を分断している既存の取水堰については、緩傾斜落差工に変更することにより、魚類等の回遊を可能にした。		
主な事業箇所と内容	愛媛県南宇和郡愛南町長月：護岸工（植生土のう、緩傾斜落差工等）		
事業の効果	現地発生土を利用し、現地植生に配慮した護岸工を採用しており、植生が回復している。		

【参照】

U R L	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/034.pdf
参考文献	—

【概要図等】

■植生土のうによる植生の早期回復



植物群落の再形成

■緩傾斜落差工による多様な生態系の形成



H13 年度施工箇所



H11 年度施工箇所

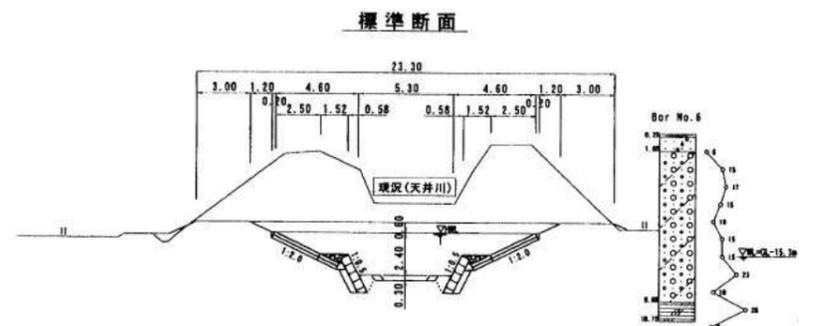
【事業の概要】

事業名	大谷川総合流域防災事業（多自然川づくり）		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成2～22年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：河川に生息する生物）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	大谷川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、大谷川の治水能力の向上及び水域と陸域に多様な自然環境を形成することによって、豊かな自然を創出することを目的としたものである。 水生生物の住みやすい生息場所の形成と植物の繁茂エリアを設け、河道と低水路を蛇行させるとともに、平面的な変化を持たせ、瀬や淵、植物の生える河原や水際を確保し、生物の多様な生息、生育の場を確保した。また、全体的には、植生護岸を1：2.0 の緩傾斜護岸にしたり、円弧ブロックに種子混合表土を中詰することで、みどり豊かな河川づくりを行った。		
主な事業箇所と内容	愛媛県伊予郡松前町、愛媛県伊予市下吾川：護岸工		
事業の効果	護岸工に自然石を採用し、現地動植物への配慮により、植生が回復している。		

【参照】

U R L	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/036.pdf
参考文献	—

【概要図等】



親水広場



親水施設（階段及び飛び石）



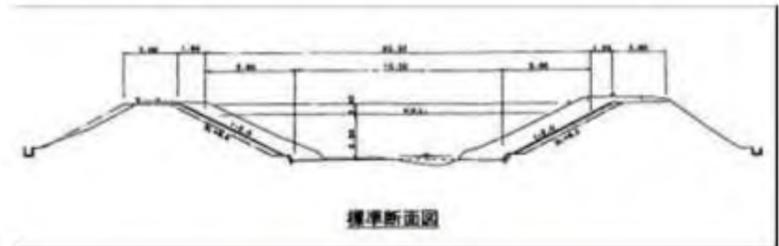
【事業の概要】

事業名	増穂川広域基幹河川改修事業（多自然川づくり）		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成12～13年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：ヨシ群及びヨシ群に生息する生物等）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	岩松川水系増穂川		
連携機関	—		
事業の概要	<p>本事業は、増穂川の河道線形の是正及び河積の拡大を図りながら、適正な河川環境の保全に配慮し多様な環境条件を保全・復元を図ったものである。</p> <p>現況植物の種子を含む表土を覆土として転用し、早く従前の環境に戻るよう配慮するとともに、ヨシ群のある水辺は、魚介類、トンボ類の産卵や幼生の生息の場として重要であるため、河床に現存するヨシ群を残し、流水部から水際、陸域までの多様な生物の生息環境の形成を促した。</p> <p>また、土堤法尻部に寄せ石を設置し、多孔質な空間、透水性、通気性等水際の多様性を持たせ、水生昆虫や魚介類の生育・生息の場の創造を図った。</p>		
主な事業箇所と内容	増穂川（愛媛県宇和島市津島町大字増穂）：護岸改築		
事業の効果	施工後の小出水により、砂礫堆積地が形成され、ヨシ・ガマ群の繁茂がみられた。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/039.pdf
参考文献	—

【概要図等】



施工後（覆土）



施行後1年

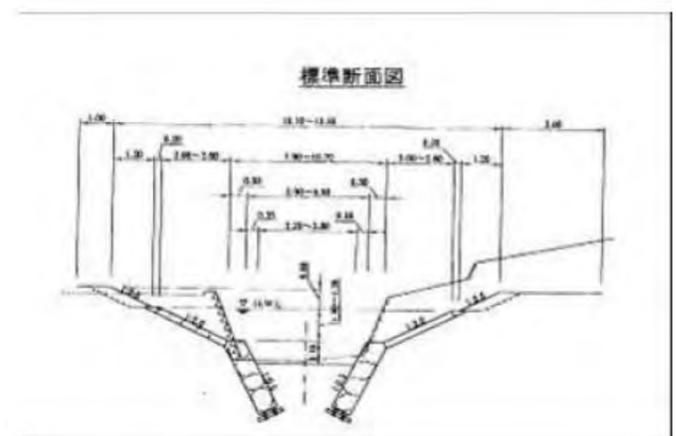
【事業の概要】

事業名	成谷川単河川部局改良事業		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成3～13年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：河川に生息する生物）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	成谷川水系成谷川		
連携機関	—		
事業の概要	<p>本事業は、成谷川の治水能力の向上および水域と陸域に多様な自然環境を形成することに配慮した治水事業である。</p> <p>植物だけでなく、動物の生息・生育に必要な水深および環境を確保するために、空積構造の低水護岸を設け、水際の多様性をもたせるとともに、高水護岸はコンクリートを使用しない多自然型護岸とした。</p> <p>また、高水護岸を緩傾斜護岸とし、階段を設置することにより、河川を訪れる人が水際のふれあいを楽しめる護岸とするとともに、低水護岸には管内産の自然石を、高水護岸には低水護岸に類似した自然石を使用して、周辺自然環境との調和を図った。</p>		
主な事業箇所と内容	成谷川（愛媛県北宇和郡吉田町大字法花津）：護岸整備		
事業の効果	工事完成後の小出水により低々水路が形成され、月日を重ねる毎に瀬や淵の成長が確認されている。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/035.pdf
参考文献	—

【概要図等】



植生護岸と親水施設（階段）



【事業の概要】

事業名	内川多自然川づくり		
実施主体	愛媛県	事業年度	昭和61～平成26年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	重信川水系内川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、内川の河道断面の拡大により流下能力を向上させるとともに、植生等により河川の豊かな自然の創出を図ったものである。 護岸は、緩傾斜護岸(3割勾配)を採用し、覆土には現地発生土を使用し、植生状況を早期の植生回復に配慮した。 また、河床にフトン管を設置することにより、流れに変化をもたせている。		
主な事業箇所と内容	内川(愛媛県松山市土居町～高井町)：護岸工		
事業の効果	緩傾斜護岸の採用により、横断方向の連続性が確保されている。		

【参照】

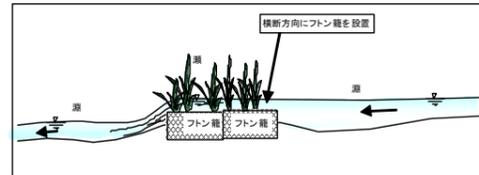
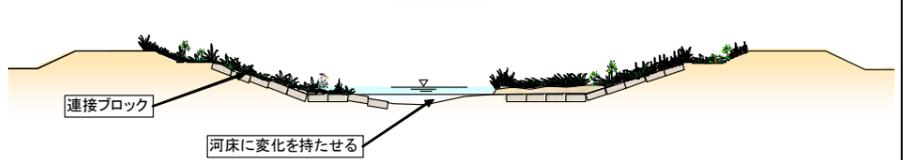
URL	http://www.pref.ehime.jp/h40600/river/index.html
参考文献	—

【概要図等】

内川(松山市)



標準横断面図



【事業の概要】

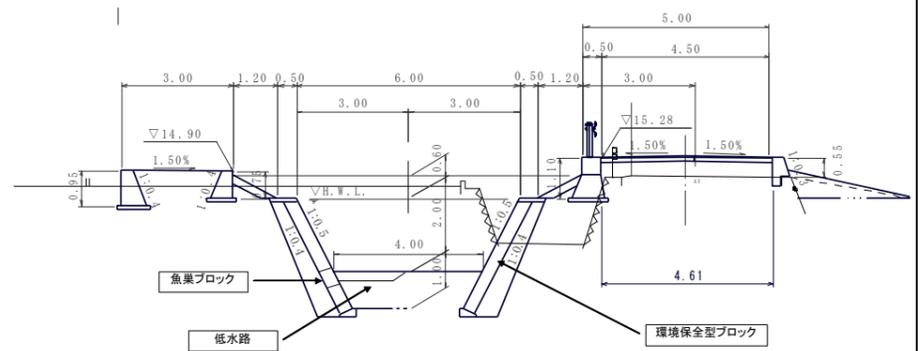
事業名	浅川多自然川づくり		
実施主体	愛媛県	事業年度	昭和61～平成26年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	浅川水系浅川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、浅川の河道断面の拡大により流下能力を向上させるとともに、植生により自然環境の復元を図ったものである。 護岸には、水際の植生が期待できるポーラスブロックを設置し、みお筋を復元することにより植生の早期の回復を図った。		
主な事業箇所と内容	浅川(愛媛県今治市矢田)：護岸工		
事業の効果	平常時の水量が少ないため、低水路(みお筋)を設置し、河床に変化を持たせることで、魚類等の生息空間が確保されている。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/h40600/river/index.html
参考文献	—

【概要図等】

浅川(今治市)



標準断面図

【事業の概要】

事業名	宮前川多自然川づくり		
実施主体	愛媛県	事業年度	昭和48～平成25年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	宮前川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、宮前川の河道断面の拡大により流下能力を向上させるとともに、生態系に配慮し、河川環境の保全・復元を図ったものである。 河床に巨石を不規則に配置し、瀬・淵の形成を促し、生物の生息空間の創出を図った。		
主な事業箇所と内容	宮前川(愛媛県松山市愛光町～住吉町)：護岸工		
事業の効果	都市部の限られた河川幅内で、河床部に変化をもたせ、瀬や淵の創出が図られた。		

【参照】

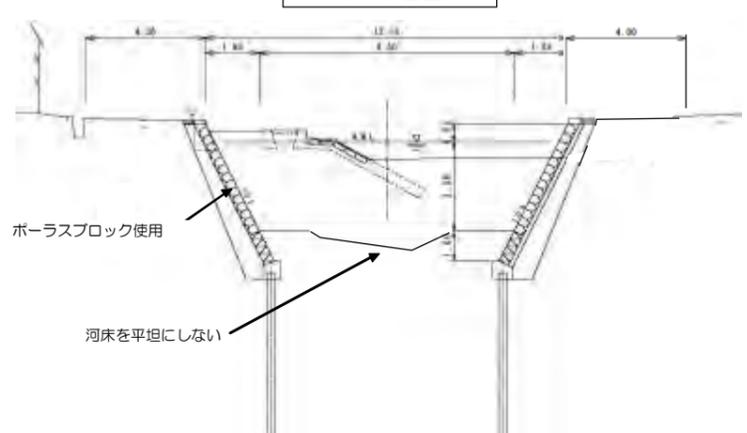
URL	http://www.pref.ehime.jp/h40600/river/index.html
参考文献	—

【概要図等】

宮前川(松山市)



標準断面図



【事業の概要】

事業名	通常砂防事業(水生生物の移動経路確保)		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成12年度～
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：水生生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	市ノ川、打木川		
連携機関	—		
事業の概要	スリット型構造の砂防堰堤を設置することにより、溪流の連続性を確保でき、水中や水際に生息する魚類や両生類などの水生生物等の上下流への移動が可能になるほか、中小出水時には土砂を下流へ流し、上下流の適正な土砂管理に期するものである。 また、空き容量を確保することにより、大きな出水期には多量の土石流や流木を捕捉することが可能である。		
主な事業箇所と内容	愛媛県西条市市ノ川 市ノ川 愛媛県内子町本川 打木川		
事業の効果	水生生物等の上下流への移動が可能になり、生態系の連続性保全への配慮がなされている。		

【参照】

URL	—
参考文献	愛媛県砂防における事例資料

【概要図等】

(格子型鋼製スリット)
西条市市ノ川 市ノ川(I型鋼製スリット)
内子町本川 打木川

【事業の概要】

事業名	「肱川水と緑のネットワーク」整備事業		
実施主体	国土交通省、大洲市	事業年度	平成18年度～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：水路等に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	大洲市街地周辺		
連携機関	地域住民		
事業の概要	既設水路の水質改善を図るなど。河川と一体となった「水」と「緑」のネットワークづくりを進め、市街地の環境をよりよいものにしていく事業である。 「肱川水と緑のネットワーク整備計画」は、全国3番目の整備事業として指定され、平成22年度の完成を目指して事業に着手しており、内堀菖蒲園内の整備と遊歩道、一部水路の暗渠整備などが実施されている。		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・肱川本川～土堀樋門、内濠菖蒲園～土堀樋門：水路整備 ・内濠菖蒲園：環境改善、親水空間の整備 ・市街地内、城山付近、臥龍山荘・蓬萊山付近：散策路整備 ・船着場の整備：肱川右岸 		
事業の効果	平成20年度より水質浄化のモニタリングを実施しており、菖蒲園のホタル水路ではホタルの餌となる様々な貝類も目立つようになり、ホタルのすめる環境が整ってきている。		

【概要図等】

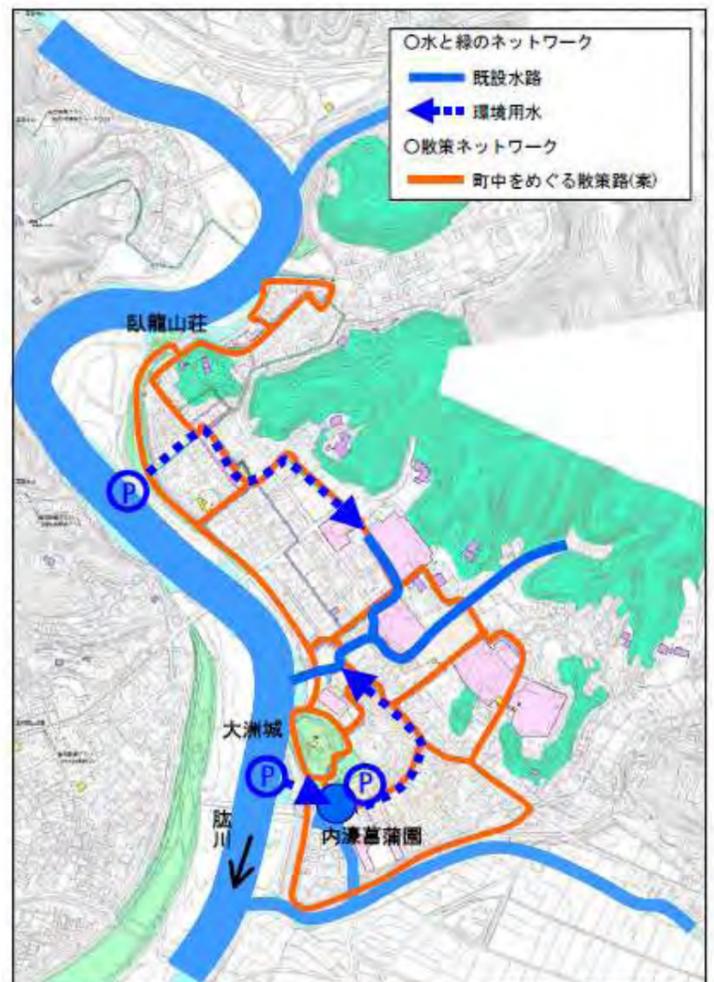


図4-2-2 ネットワーク図

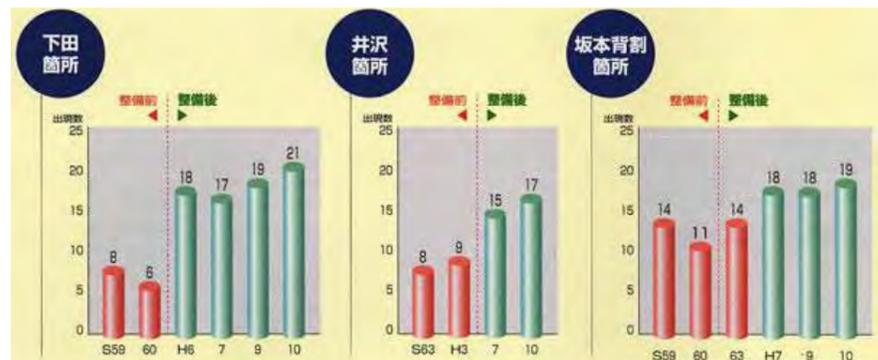
【参照】

URL	http://www.city.ozu.ehime.jp/koho/machi/
参考文献	「四国技報」第5巻9号 肱川水と緑のネットワーク整備計画(案)

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり		
実施主体	国土交通省	事業年度	各事業シート参照
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川水系		
連携機関	—		
事業の概要	四万十川の河川事業においては、下記の3点を基本方針に、生態系や景観に配慮した四万十川多自然型川づくりが進められている。 <ul style="list-style-type: none"> ・良好な自然環境の保全 ・地域に愛され親しまれる川づくり ・魅力あふれる「四万十川の顔」づくり 		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・下田箇所 ・井沢箇所 ・坂本背割箇所 ・百笑箇所 ・佐田箇所 ・山路箇所 ・坂本箇所 ・古津賀箇所 ・具同箇所(赤鉄橋下流) ・具同箇所(赤鉄橋上流部) ・入田箇所(低水護岸部) ・入田箇所(高水護岸部) ・中村箇所 ・四万十川水と緑の回廊づくり ・耳切(大用寺)箇所 ※各箇所について、個別シートを作成		
事業の効果	代表的な箇所における追跡調査結果により、事業実施後の魚類の種類数が増大していることが確認されている。		

【概要図等】



■代表的な箇所における、整備前後の魚類出現数の比較

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《下田箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成10年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川下田箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、アオノリ、コアマモの生育場所であり、その棲息環境に配慮するとともに、屋形舟による観光コースともなっており生態系の保全、景観等に配慮することとした。 自然石による植石護岸及び植生により自然環境の復元をはかると共に川岸の形状を緩やかな傾斜にし自然な砂州の形状を創出する。またワンド状の淀みを設置しアマモ場を形成させることとした。		
主な事業箇所と内容	左岸 1k/0 付近：藻類配慮緑化護岸		
事業の効果	追跡調査結果により、事業実施後の魚類の種類数が増大していることが確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事後（完成直後）：
ワンド状の淀みを設け。
自然砂州の形状となりました。



■完成後（5年）：
水際部、護岸部共に、自然植生が発達してきています。

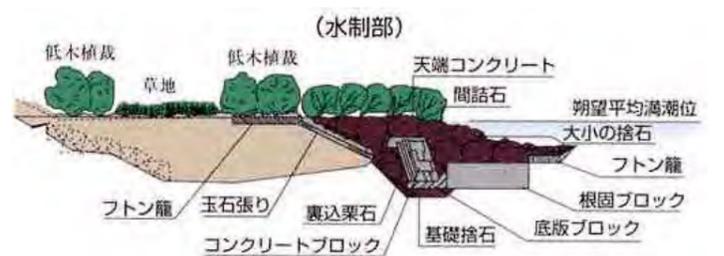
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《井沢箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成4年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川井沢箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、幻の魚「アカメ」が棲息するとともに他魚類も豊富に棲息しており、これらに配慮することとした。 大型魚巣ブロック上部に捨石を投入し、魚巣効果をさらに増大させると共に水際線は緩やかな起伏をつけ景観上のアクセントと水ハネ効果を期待するものとした。		
主な事業箇所と内容	左岸 5k/0 付近：魚類棲息護岸		
事業の効果	追跡調査結果により、事業実施後の魚類の種類数が増大していることが確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事後（完成直後）：
水際の線は緩やかな起伏となり、複雑な空間が形成されています。



■完成後（5年6ヶ月）：
植生が発達し水辺の緑が復元してきています。

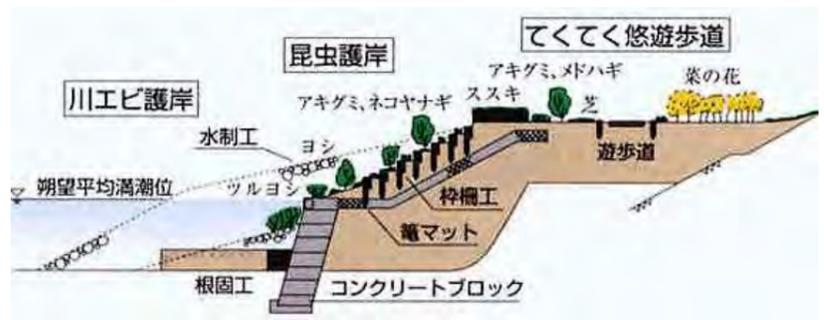
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《坂本背割箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成5年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川坂本背割箇所		
連携機関	—		
事業の概要	<p>当箇所は、四万十川観光の核として、遊覧船乗船のため、年間30万人が訪れる坂本地区を起点に中村市民祭、四万十川フルウォーキングの会場として各種のイベントの主会場として市民に親しまれている具同地区間で整備している「てくてく悠遊歩道」に併せ、既設コンクリート根固により、景観を著しく損ねている坂本背割箇所の補強を行い、生態系に配慮した川づくりを行うこととした。</p> <p>汽水域であるため、魚種も豊富であるほか、ヤマトテナガエビ、ツガニの宝庫となっており、生態系に配慮すると共に美しい自然景観を復元すべく緑化を図った。また、約60m毎に水制工を設置することで背割堤を洪水から守ると同時に魚類・エビなどが生息できる空間を創出することとした。</p>		
主な事業箇所と内容	右岸6k/6～8k/0付近：昆虫・蝦(えび)・蟹(かに)護岸		
事業の効果	追跡調査結果により、事業実施後の魚類の種類数が増大していることが確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事後(完成直後)：
根固ブロック等は自然石・覆土により隠されています。



■完成後(3年6ヶ月)：
植生が繁茂して水辺の緑が形成されてきています。

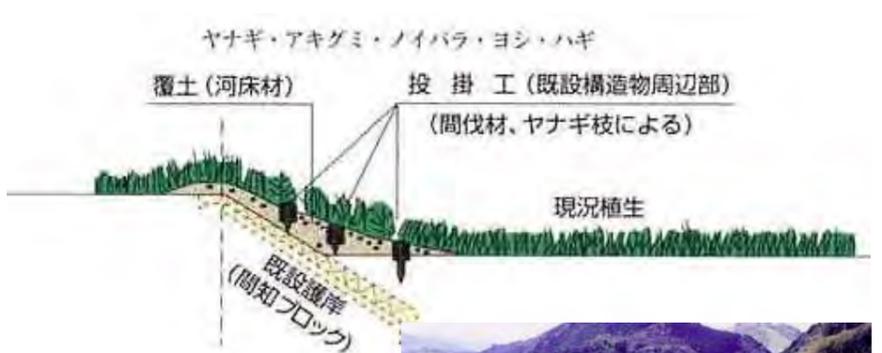
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《百笑箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成10年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が対象 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川百笑箇所		
連携機関	—		
事業の概要	<p>当箇所は、中村市街地に隣接し交通の便も良いことから、市民及び観光客のイベントやスポーツ、レクリエーションの場として利用されており、生態系及び景観を損ねている既設護岸(間知ブロック張)を植生で覆うと共に、親水性及び景観に配慮し、生態系及び自然環境の修復を図ることとしました。</p> <p>既設低水護岸(間知ブロック張)に、緩勾配(1:3～1:5)の覆土(河床材)を行い周辺の育成基盤を作り、寄州部の自然景観との一体化を図ると共に、子供や老人等に親しみやすい階段等を設置している。また、構造物周辺は、投掛工により覆土の安定を図ることとした。</p>		
主な事業箇所と内容	左岸9k/0～10/0付近：覆土緑化護岸		
事業の効果	植生の発達により、周辺植物との一体化が図られている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
間知ブロック張護岸で施工されていました。



■完成後(4ヶ月)：
植生の発達により、周辺植物との一体化が図られています。

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり 《具同箇所（赤鉄橋下流部）》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成8年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川具同箇所（赤鉄橋下流部）		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、高水敷が渡川緑地公園で、市民及び観光客の利用が対岸の百笑箇所同様に多い箇所であり、自然環境の保全・再生に努めると共に、親水性にも配慮することとした。 既設護岸（張コンクリート・間知ブロック張）に覆土（河床材）を行い柳枝工・枠柵工にて覆土の安定を図った。また、水衝部には、粗朶沈床を設置し、洗堀防止と共に生物の生育環境を創出することとした。		
主な事業箇所と内容	右岸 9k/0+100～9k/4 付近：沈床覆土緑化護岸		
事業の効果	植生が繁茂して、水辺の緑が形成されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事後（完成直後）：
覆土材料には、河床材を使用しました。



■完成後（9ヶ月）：
植生が繁茂して、水辺の緑が形成されてきています。

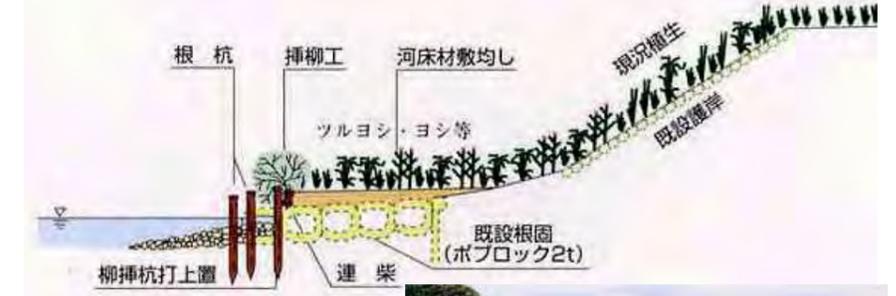
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《山路箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成9年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川山路箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、四万十川観光遊覧船船着場・夕日の見える丘展望所の直下流に位置し、非常に多くの観光客が訪れるため、景観を損ねている既設根固ブロックを植生等で覆うと共に、水生生物に配慮し自然景観の修復を図ることとした。 既設根固ブロックに、柳挿杭打上置・根杭（伝統工法）を設置し、覆土（河床材）を行い周辺植生の育成基盤を作り、自然景観との一体化を図ることとした。また、エビ、ウナギの漁場でもあることから、魚類やスジアオノリの生育に配慮し、根固ブロック等の空隙は極力現状維持させるよう配慮した。		
主な事業箇所と内容	右岸 6k/0～6k/2+130 付近：間伐材覆土緑化護岸		
事業の効果	植生の発達により、周辺景観と調和してきている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
根固ブロックが露出し、単相の水辺となっています。



■完成後（4ヶ月）：
植生の発達により、周辺景観と調和してきています。

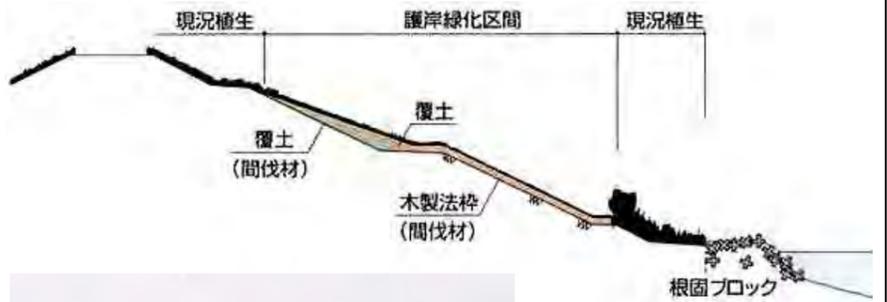
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《古津賀箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成9年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川古津賀箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、四万十川観光遊覧船当、多くの観光客が訪れる箇所であるが、既設護岸(間知ブロック張)が生態系及び景観を損ねており、植生を覆うことにより、生態系及び自然景観の修復を図ることとした。 既設護岸(間知ブロック張)に、覆土を行い生態系及び景観の修復を行うもので、間伐材による法枠工にて覆土の安定を図ることとし、また、急勾配箇所は、自然石にて景観を向上させることとした。		
主な事業箇所と内容	左岸 5k/4+100~5k/6+150 付近：覆土緑化護岸		
事業の効果	植生の発達により、自然環境の修復が図られている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事後(完成直後)：緑化は、現地植生及び野芝にて行いました。



■完成後(4ヶ月)：植生の発達により、自然環境が修復してきています。

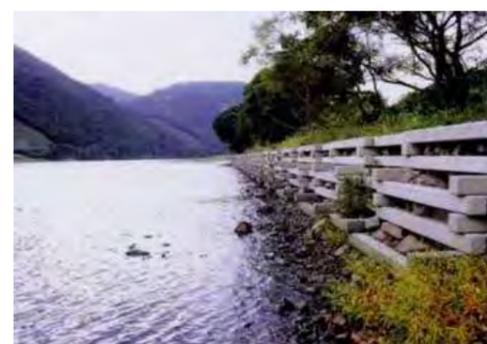
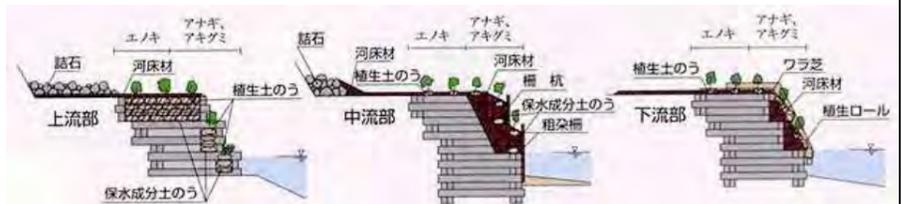
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《佐田箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成18年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川佐田箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、コンクリート方格材が周辺の景観を損ねており、植生で覆うことにより、生態系・自然景観の修復を行うこととした。 既設護岸は、勾配がきつい上、全面水深が深く覆土等の施行が困難なため、植生土のう・粗朶柵・植生ロールにより緑化を図ることとした。		
主な事業箇所と内容	右岸 12k/6~12k/8 付近：植生緑化護岸		
事業の効果	植生が繁茂し、自然景観と調和している。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：人口構造物であるコンクリート方格材が、周辺の景観との違和感を与えています。



■完成後(2年4ヶ月)：植生が繁茂し、自然景観と調和してきています。

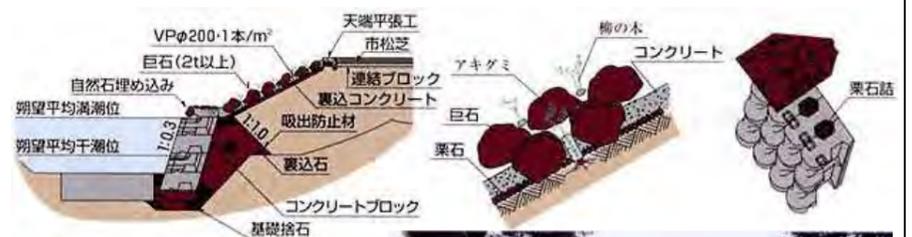
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《坂本箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成3年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川坂本箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、直下流の船着場整備(第三セクター施工)と併せ、背後地の景観に配慮し、自然の巨石及びヤナギ、アキグミ等の植樹等により、水辺の緑化、生態系の修復を行うこととした。 近隣で採取される自然の巨石を利用し、隙間に土を覆土し、表面の植生化を行った。また、水中部は魚巣ブロックを使用し、その中に栗石を詰め魚巣効果を高めることとした。		
主な事業箇所と内容	右岸6k/6付近：巨石緑化護岸		
事業の効果	巨石の隙間から植生が繁茂し、自然環境が復元されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
幾何学模様が続く根固ブロックおよび間知ブロック張で施行されていました。



■完成後(7年4ヶ月)：
巨石の隙間から植生が繁茂し、自然環境が復元してきています。

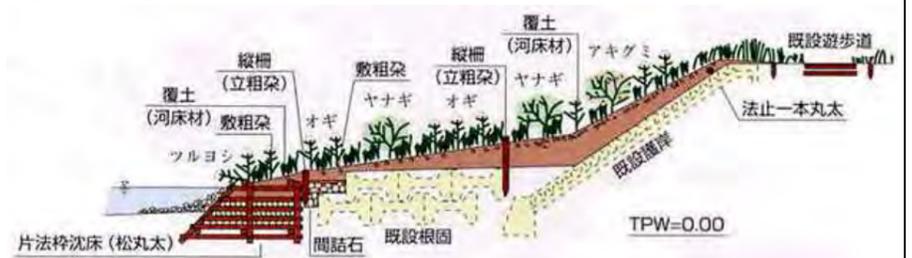
【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり 《具同箇所(赤鉄橋上流部)》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成8年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川具同箇所(赤鉄橋上流部)		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、市民及び観光客の利用が多い箇所であり、自然環境を著しく損ねている既設護岸等を植生で覆うことにより、自然景観や生態系に配慮し、地域住民等にも親しまれるように整備を図ることとした。 既設護岸(間知ブロック)に、覆土(河床材)を行い、アキグミ、ツルヨシ、ヤナギ等の生育基盤を創出した。また、当箇所は水衝部であり、木工片法枠沈床を設置し、洗堀防止は当然のこととして、ゴリ、エビ等の生育環境を向上させることとした。		
主な事業箇所と内容	右岸10k/0~10k/0+100付近：沈床覆土緑化護岸		
事業の効果	植生が繁茂し、昆虫等が多く見られるようになっている。		

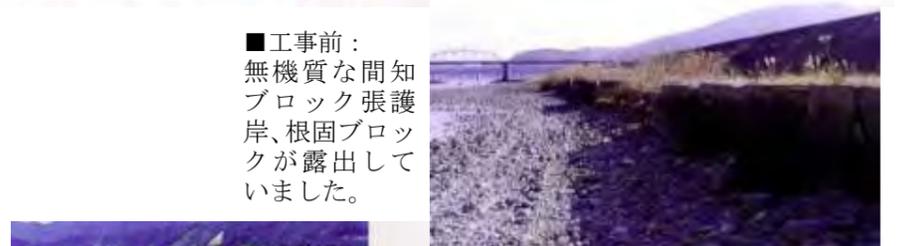
【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
無機質な間知ブロック張護岸、根固ブロックが露出していました。



■完成後(1年)：
植生が繁茂して覆土が安定してきています。昆虫等が多く見られるようになってきています。

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり 《入田箇所（低水護岸部）》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成7年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川入田箇所（低水護岸部）		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、河床部にヤナギ林が広がり、自然豊かな箇所であり、護岸表面を植生で覆うことにより、水際から堤防、そして堤防・山林までの「緑の連続性」の創出、自然環境の修復を図ることとした。 既設低水護岸（間知ブロック張）に緩勾配（1：3～1：4）の覆土を行い、周辺植生の基盤をつくった。また、四万十川流域で生産した間伐材、粗朶により柵工を施工し、覆土の安定を図ることとした。		
主な事業箇所と内容	右岸 11k/8～13k/0 付近：間伐材覆土緑化護岸		
事業の効果	ヨシ、ススキなどの潜在植生が急速に生育し、「緑の連続性」が確保されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
間知ブロック張護岸で施工され自然景観、生態系が損なわれていました。



■完成後（9ヶ月）：
ヨシ、ススキなどの潜在植生が急速に生育し、「緑の連続性」が確保されています。

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり 《入田箇所（高水護岸部）》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成11年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川入田箇所（高水護岸部）		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、自然観察を基本とした自然学習の場であり、市民及び観光客の利用を考慮すると共に、自然植生の復元を図ることとした。 既設護岸（間知ブロック張）に計量法柵（ずれ止め）を設置し、その上に覆土を行い張芝を施すこととした。		
主な事業箇所と内容	右岸 11k/4+100～13k/0 付近：法面覆土緑化護岸		
事業の効果	植生が繁茂し、昆虫類の生息が見られるようになった。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
画一的で直線の間知ブロック張護岸



■完成後（4年）：
植生が繁茂し、バッタ、コオロギ等の昆虫が見られるようになり、昆虫採取等に利用されています。

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《中村箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成8年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川水系後川中村箇所		
連携機関	—		
事業の概要	当箇所は、中村市が震災等により火災等の消化に必要な水を確保する目的とともに、中村市街地に近接していることから、市民が利活用できる親水性のある護岸として整備するもので、自然環境・生態系に配慮し緑化を行うこととした。 防火用坂路を設けた周辺に覆土ブロック及び杭柵工・法枠工を設置し、緩勾配覆土により植生が繁茂しやすくし、自然環境の復元を図った。また、植石階段及び木製階段を設置し、親水性を向上させることとした。		
主な事業箇所と内容	後川右岸 2k/6～3k/0 付近：覆土緑化護岸		
事業の効果	自然植生が発達してきている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■工事前：
間知ブロック張護岸が連続して景観的に好ましいとは言えません。



■完成後(4ヶ月)：
自然植生が発達してきています。
(写真上：低水護岸部・写真下：高水護岸部)

【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり《竹島・鍋島箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成11年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川竹島・鍋島箇所		
連携機関	—		
事業の概要	この付近の堤防の表面は、コンクリートでつくられていたため、自然や景色の見た目がそこなわれていたため、自然の生き物や風景のことを考え、コンクリートを緑でおおって自然環境を復元した。 この場所は、河川敷が洪水によってけずり取られないよう、木杭や石など自然の材料を使用した伝統工法で整備するとともに、水の中は石を張り、色々な生物がすみやすい環境となるよう配慮した。なおワンド（入り江）についてはコアマモが自生しており、船着場としての利用をしながらも、水中部にはなるべく手を加えないよう整備した。		
主な事業箇所と内容	左岸、河口より2km～4km 付近：覆土緑化		
事業の効果	水際の植生が回復した。		

【参照】

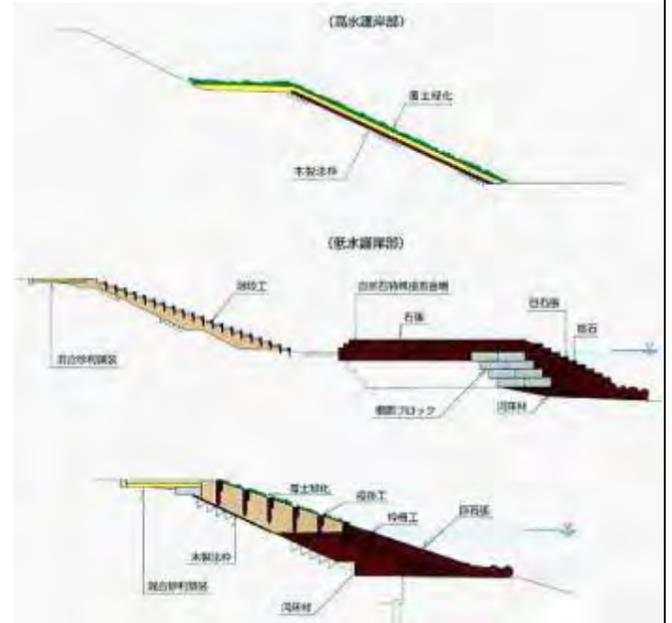
URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】



■竹島地区・工事後(1年)

■鍋島地区・工事後(1年)



【事業の概要】

事業名	まほろば「四万十川」多自然型川づくり 《耳切（大用寺）箇所》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成8年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：河川に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	四万十川耳切（大用寺）箇所		
連携機関	—		
事業の概要	<p>当箇所は、後川右岸岩田川との合流点に位置し、再三の家屋浸水等被ってきた箇所であることから、宅地水防災事業により、地上げ盛土を施工し、併せて築堤・国道(441号)合併事業を施工する事により治水面の安全性を向上させると共に周辺景観・生態系に配慮することとした。</p> <p>低水部は、根固工及び魚巣ブロックを配置し、その上部は自然石による練石張護岸を施工し、自然景観との調和を図った。また当箇所は、自然植生・樹木等豊富な所であり、極力現植生を存置すると共に、ヨシ、アキグミ、ヤナギ等の植栽を行い、自然植生の復元を促進させることとした。</p>		
主な事業箇所と内容	後川右岸 4k/4+100～4k/8 付近：巨石緑化護岸		
事業の効果	植生が繁茂し、周辺景観にとけこんできている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo1.html
参考文献	—

【概要図等】

■工事前

■完成後（2年6ヶ月）：
植生が繁茂し、周辺景観にとけこんでいます。

【事業の概要】

事業名	仁淀川環境に配慮した護岸工		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成14～15年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種：河畔樹林)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	仁淀川（高知県吾川郡春野町森山地先）		
連携機関	—		
事業の概要	<p>本工事は、出水による河岸洗掘対策として護岸工（L=760m）を施工するものであるが、施工箇所背面には樹林帯が形成されており、この樹林帯にはヤナギ、エノキ等の樹林の他、希少動植物（ビンズイ、ルリビタキ、アオジ、イヌアワ）も確認されている。さらに、樹林帯に沿って水路状の低湿地が伸び、植物に限らず水辺の生物種の多様性が大きい良好な環境が形成されている。</p> <p>このことから洗掘対策と共に、これら良好な生息環境の保全・保護も念頭に置き、護岸工の設計・施工を行うものである。また、前面河床はアユの産卵場となっていることもあり、施工にあたっては仮設計画等の配慮を行った。</p>		
主な事業箇所と内容	高知県吾川郡春野町森山地先：護岸工		
事業の効果	河岸洗掘防止がはかられ、階段設置により利用者も増加		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/038.pdf
参考文献	—

【概要図等】

<全景写真>

【事業の概要】

事業名	早明浦ダムグリーンベルト事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	昭和62～継続中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：ダム湖の緑化)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	吉野川水系早明浦ダム		
連携機関	地元住民等		
事業の概要	四国の水がめである早明浦ダムにおいて、緑豊かなダム周辺環境の創出と、濁水の原因となる湖岸崩壊と表土浸食を防止することを目的として昭和62年より実施している。 貯水池周辺に郷土樹種を中心とした植栽を行っており、広葉樹を主とした斜面安定度が高く、景観に配慮した複層林型の森林を目指している。また、貯水池に直接流入する溪流からの土砂流出奉仕対策を併せて行い、安定した植生と相まって濁水の抑制を図っている。		
主な事業箇所と内容	早明浦ダム貯水池周辺：植栽工、溪流工		
事業の効果	当事業による効果は、広範囲の利水者にもたらされる効果(濁水発生防止)や多岐にわたる効果(動植物の生息生育環境の創出、景観の改善等)が含まれていることから、濁水等の各種モニタリングを実施しながら事業を実施している。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/
参考文献	吉野川ダム統合管理事務所事業概要、平成20年度四国地方整備局事業評価監視委員会資料、平成19年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会優秀論文

【概要図等】



図-3.2 早明浦水環境整備事業計画図

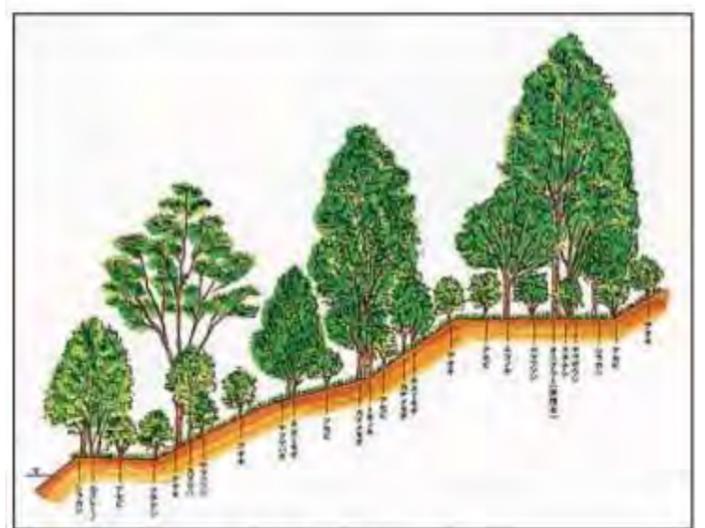


図-3.3 植栽後30年のイメージ図

【事業の概要】

事業名	四万十川自然再生事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成14年度～実施中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：ツル(マヅル、ハヅル他)、アユ、アカメ 他)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川水系(高知県宿毛市、四万十市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町、黒潮町、三原村、愛媛県宇和島市、松野町、鬼北町)		
連携機関	国、県、市、学識、流域住民(四万十川自然再生協議会)		
事業の概要	四万十川では、昭和30年代の四万十川の原風景の復活を目指し、「ツル」「アユ」「アカメ」「ヤゴ」に着目し、瀬と淵の再生、湿地の再生、ワンドや池の整備、樹木・植物の管理・保全などの自然再生事業を平成14年から実施している。		
主な事業箇所と内容	・「ツルの里づくり」 ・「アユの瀬づくり」 ・「ヤゴの里づくり」 ・「アカメの瀬づくり」 ※下線の実施事業については個別シート参照		
事業の効果	動植物の生息・生育環境の再生、樹木の伐採や湿地の再生により白い砂州と瀬の拡大やナベツルの越冬が確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo.html http://shimanto-saisei.com/info.htm http://www.shimanto-tsuru.com/
参考文献	「四国技報」第7巻13号

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	四万十川自然再生事業《ツルの里づくり》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成14年度～実施中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：ツル (マヅル、ナヅル他))		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域 (流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域 (地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川水系中筋川		
連携機関	国、県、市、学識、流域住民 (四万十川自然再生協議会)		
事業の概要	四万十川周辺に数多く飛来し越冬していたツルが、餌となる2番穂の減少やねぐらの消滅などにより、越冬が見られなくなっていることから、国際的なツル保護の方針や地域活性化の取組と一体のものとして、ねぐら及び餌場を整備し、ツルの越冬できる環境を再生・保全していくものである。		
主な事業箇所と内容	・中筋川 (中山箇所)：ねぐらやたまりの整備、樋門の改良による餌場の拡大 等		
事業の効果	ねぐらとたまり (湿地及び餌場) が完成しており、えさとなる生き物の増加や、ナベツルの越冬が確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo.html http://shimanto-saisei.com/info.htm http://www.shimanto-tsuru.com/
参考文献	「四国技報」第7巻13号、四万十つるだより

【概要図等】



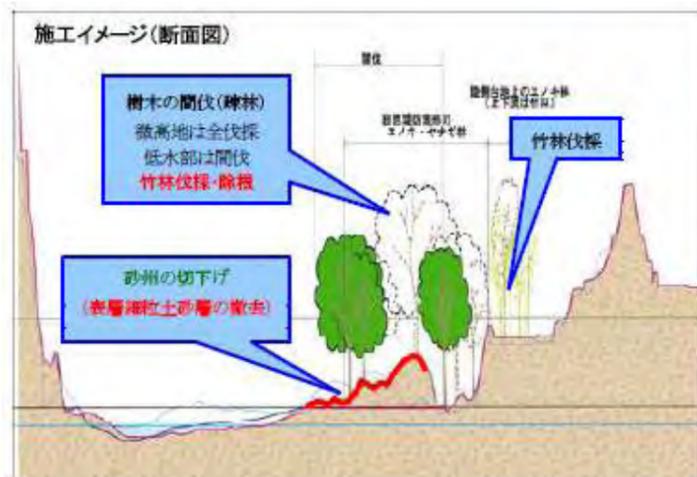
【事業の概要】

事業名	四万十川自然再生事業《アユの瀬づくり》		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成14年度～実施中
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：アユ)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域 (流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域 (地区・箇所単位等)		
対象区域	四万十川		
連携機関	国、県、市、学識、流域住民 (四万十川自然再生協議会)		
事業の概要	四万十川では砂利採取やみお筋の固定化による深掘れと砂州部の固定化及び樹林化が進み、アユの産卵場となる瀬が減少していることから、樹林化した砂州の樹木伐採・間伐と河床の切り下げにより洪水時にかく乱されやすい河床状況とし、自然のダイナミズムによって白い砂州とアユの産卵場となる広い瀬を回復させようとするものである。		
主な事業箇所と内容	・四万十川 (入田地区)：瀬の再生		
事業の効果	モニタリング調査を行いながら、樹木の伐採や間伐、堆積土砂の撤去を行っており、白い砂州と瀬の拡大や、草地にすむ鳥類の増加などが確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/river/gaiyo/gaiyo.html http://shimanto-saisei.com/info.htm
参考文献	「四国技報」第7巻13号、四万十川再生協議会通信

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	横瀬川ダム建設事業（種の保全）		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成17～18年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：水田生植物）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	渡川水系横瀬川（高知県宿毛市山名町山田地先）		
連携機関	—		
事業の概要	横瀬川ダム建設事業では、ダム湖予定地周辺に残る良好な自然環境をダム完成後の将来にわたっても永続的に保全することが目標であり、谷間に開かれた棚田に生育する水田生貴重植物について、持続的な種の保全作業を実施している。		
主な事業箇所と内容	高知県宿毛市山名町山田地先：水田保全作業		
事業の効果	保全作業を行うことにより、多年草の優占度が高くなるものの、一定の保全効果があることが分かった。今後、ダム完成までの貴重植物の資源維持や、ダム完成後の代替地への移動に向けた手法の検討等が行われることとなっている。		

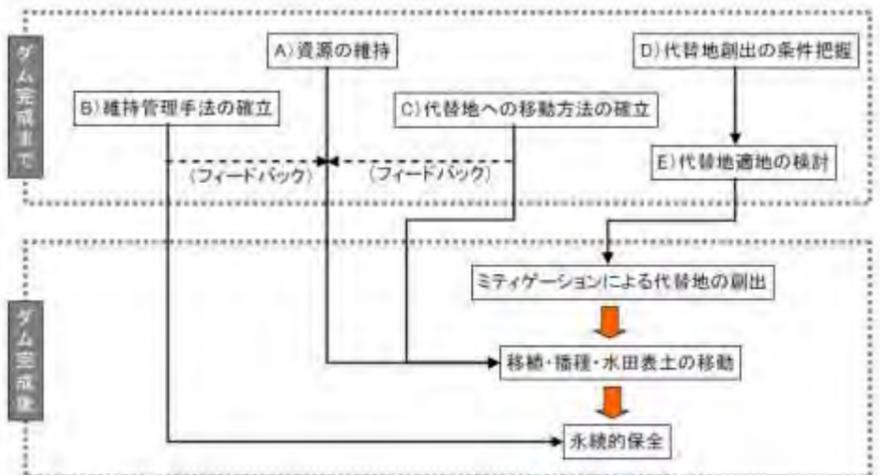
【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/
参考文献	平成19年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会優秀論文

【概要図等】

表.2 保全対象区画における年度別保全作業項目

作業項目	新作物停止前				H17年度			H18年度			
	耕起・代掻き	灌水	田植え	除草（除草剤）	耕起・代掻き	灌水	田植え	除草（人力）	耕起・代掻き	灌水	常時（自然）
PF1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PF2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PF3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PF4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PF5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PF6	○	○	○	○	未実施			○	○	○	○



【事業の概要】

事業名	土生川の多自然型川づくり		
実施主体	高知県	事業年度	平成元～5年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：河川環境）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	土生川		
連携機関	—		
事業の概要	土生川は河積が狭く、たびたび洪水が氾濫する未改修河川であったが、圃場整備事業などと調整を図って、平成元年度より下流部から1.1kmの区間を河川局改良事業として改修に着手することとなった。 改修にあたっては「昔ながらの川づくり」をテーマに自然豊かな川づくりを進めることとし、護岸工に空石張り護岸を採用し、水際にネコヤナギやセキショウなどを植栽して河岸を緑ある自然な形態とした。		
主な事業箇所と内容	高知県香美郡土佐山田須江（国分川合流点から土生川橋までの間 1,130m）：河川改修		
事業の効果	施工後1年10ヶ月で、水際にはセキショウやネコヤナギが繁茂している。		

【参照】

URL	http://www.rfc.or.jp/kawa/kawa_f.html
参考文献	—

【概要図等】



（左）施工前
水深も浅く、流れも単調、法面には接続ブロックが露出している。



（下）施工後1年10ヶ月
水際にはセキショウやネコヤナギが繁茂。（平成7年4月）

【事業の概要】

事業名	国分川激甚災害対策特別緊急事業（多自然川づくり）		
実施主体	高知県	事業年度	平成10～15年度
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：河川環境）		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	国分川水系国分川		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、国分川の98年豪雨による被害を受け、再発防止のため、激甚災害対策特別緊急事業に採択された事業である。国分川が多自然川づくりでは、河川のもつ多様な自然環境や流域の土地利用に配慮する必要があることから、石や木を活用しながら既存の景観や動植物の生息空間が残るように計画・施工を行った。		
主な事業箇所と内容	国分川（高知県南国市岡豊町小蓮～南国市久礼田）：護岸工、水制工		
事業の効果	植生が順調に回復しつつあり、付近住民の散策の場となっている。また、ヒトリガモ等の飛来も確認されている。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/044.pdf
参考文献	—

【概要図等】

(工事体験学習会の状況)



【事業の概要】

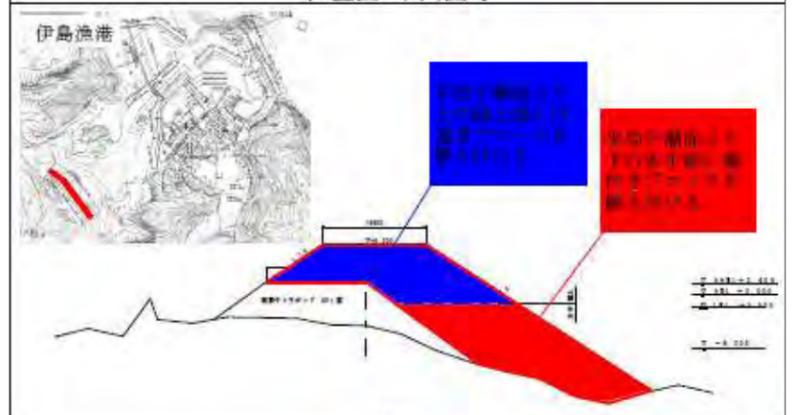
事業名	伊島漁港防波堤整備事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成18年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：アワビ、サザエ、ウニ等）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	伊島漁港（阿南市伊島町）		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、既設防波堤が、近年の異常気象により被災を受けているため、設計波浪を見直し、改良を加え、通常時における航路の静穏度を確保を目的としたものである。当該施設周辺は、アワビ、サザエ、伊勢エビ、ウニ等の良好な漁場である。このため、これらの生育環境に配慮した溝付き消波ブロックを使用した防波堤を建設した。陸上部には、通常の消波ブロックを使用し、平均干潮面より下の水中部では主に海藻類の固着を目的として、溝付き消波ブロックを使用した。		
主な事業箇所と内容	伊島漁港（阿南市伊島町）：防波堤設置		
事業の効果	消波ブロックの溝部には、海藻を餌とするサザエ、ウニ等が蟄集することも期待され、これらの生物が魚類から身を守る隠れ家としても活用されることが期待されている。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【概要図等】

位置図・平面図等



写真



【事業の概要】

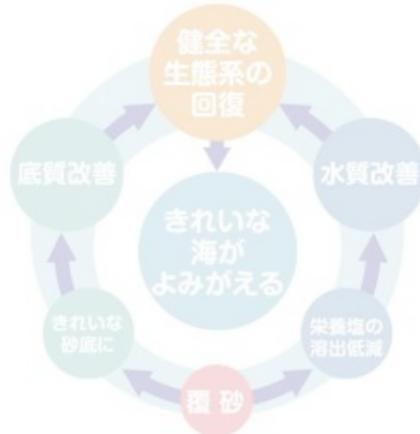
事業名	津田港海域環境創造事業（シーブルー事業）		
実施主体	国土交通省	事業年度	覆砂工事 H3～5、H14～17 追跡調査 H3～8、H14～20
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：海域環境の回復）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	津田湾		
連携機関	—		
事業の概要	シーブルー事業（海域環境創造事業）は水質や海底などの海域環境を改善し、快適で潤い豊かな海辺の空間を創り出すことを目的として進められている。 シーブルー事業としての覆砂は、海底にたまったヘドロ層の上を良質な砂で覆い、溶け出していく必要以上の有機物や栄養塩をシャットアウトし、海の生物が本来持っている自浄能力をよみがえらせ、底質や水質を改善することにより、いろいろな生物が住みやすい海域環境を回復する。		
主な事業箇所と内容	右図参照		
事業の効果	津田湾における覆砂事業では、底質の改善効果、底泥からの溶出の遮蔽効果、底生生物の生息環境改善効果等の環境改善効果があり、その効果は覆砂施工後から現在も概ね持続されていることが確認された。		

【参照】

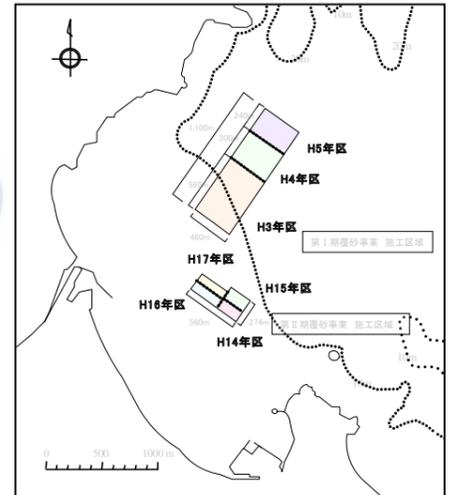
URL	http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/index.html
参考文献	—

【概要図等】

●シーブルー事業による改善効果



●覆砂施工位置図



●覆砂効果イメージ図



【事業の概要】

事業名	内海港海域環境創造事業（シーブルー事業）		
実施主体	香川県	事業年度	平成 12～16 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：港内の生物相回復）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	内海港古江地区		
連携機関	—		
事業の概要	内海湾は、長年にわたり陸域から流入した栄養塩や有機物により、海底には有機汚泥が堆積し、閉鎖性の強い海域であるため、外洋水との海水交換が悪い状態が続いていた。 また、陸域からの流入と汚泥からの溶出負荷により、一層の汚濁が進行する悪循環が繰り返され、特に湾奥部ほど水質、底質の有機量が高い傾向にあり、水質が著しく悪化し、透明度の低下、赤潮発生の増加、底層水の貧酸素化などの影響がみられていた。 このため、内海港では海底の汚泥を清浄な砂で被覆することにより、底泥の質そのものを改善するとともに、汚泥を封じ込め、海水と汚泥の直接的な接触を妨げることによって、底質からの有機物の溶出を抑制し、水質の浄化、生物相の回復を図ることを目的として実施した。		
主な事業箇所と内容	内海港古江地区：覆砂 480000 m ²		
事業の効果	水質、底質について、一定の効果が確認されている。		

【参照】

URL	http://www.pref.kagawa.jp/kowan/job01-5.html
参考文献	—

【概要図等】



凡例

：覆砂範囲



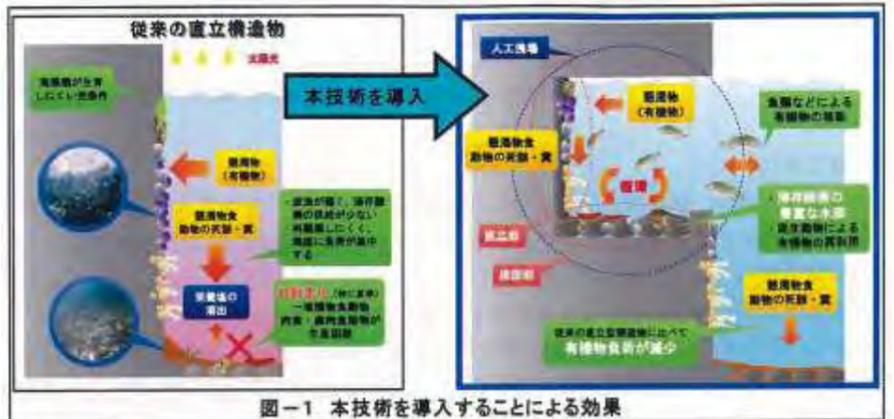
【事業の概要】

事業名	三島川之江港金子地区整備事業 (エコシステム式海域環境保全工法)		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成17年度～継続中
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種: 魚類、底生生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	愛媛県四国中央市		
連携機関	—		
事業の概要	金子地区多目的国際物流ターミナル整備の直轄防波堤整備(全延長990m)のうち、約100mの区間にエコシステム式ケーソンを施工し、その効果のモニタリングを実施中である。		
主な事業箇所と内容	三島川之江港金子地区防波堤(延長約100m)		
事業の効果	三島川之江港は瀬戸内海でも比較的閉鎖性が高く、静穏で水温躍層が発達しやすいため、夏期には貧酸素化が進む海域である。ケーソン設置後のモニタリングでは、目標とする酸素濃度を各浅場で満たすとともに、底生動物や魚類等の多様な生物の生息場として有効に機能していることが確認されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/tkgityou/business/bus_1/index.htm
参考文献	「四国技報」第6巻11号。平成19年度四国地方整備局管内技術・業務研究発表会資料

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	松山港海岸高潮対策事業(和気・堀江浜)		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成12～19年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種: コアマモ)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	松山港海岸(和気・堀江地区)(愛媛県松山市)		
連携機関	—		
事業の概要	高潮対策を目的に、海岸堤防改良、養浜等を実施する事業である。和気・堀江浜前面には、魚類の産卵場所や稚魚の生育場所となるアマモやコアマモが群生しており、養浜工実施の際にはコアマモの移植を行っている。		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施工延長850m ・堤防改良、突堤改良、堤防(養浜) 		
事業の効果	平成15年度に養浜工により埋没する部分に群生する「コアマモ」群落の移植を実施した。作業はダイバーによる手作業で実施し、移植後の良好な生育のために、地下茎や周辺土砂と共に採取し、移植場所に運搬・移植する方法とした。「コアマモ」の移植については、事例が非常に少ないため、移植後の生育状況についての、モニタリング調査を継続している。		

【参照】

URL	http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/seaside/seibi.html
参考文献	「四国技報」第5巻9号、「四国技報」第2巻3号、えひめ環境保全ナビゲーション

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	東予港港湾改修事業		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成6～32年度(予定)
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: コアマモ)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	東予港西条地区(愛媛県西条市ひうち)		
連携機関	—		
事業の概要	東予港において、港内に点在する小型船溜りを統合整理するため、新しい小型船溜りの整備を実施するにあたり、レッドデータブックに記載のある「コアマモ」の存在が確認されたため、藻場移植を実施したものである。 移植にあたっては、その実効性を確認するため、部分的な移植実験を実施した。		
主な事業箇所と内容	物揚場 730m、船揚場 50m、防波堤 450m		
事業の効果	移植後2年程度経過した時点では、移植先で順調に生育していることが確認されたが、5年程度経過した時点では、衰退傾向も伺えることから、継続観測を続けることとした。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyuu/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/053.pdf
参考文献	—

【概要図等】

コアマモ移植状況写真



【事業の概要】

事業名	高知港海域環境創造事業(シーブルー事業)		
実施主体	高知県	事業年度	平成5～11年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象:)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	高知港横浜地区		
連携機関	—		
事業の概要	高知県中央部に位置する浦戸湾は、近年の流域人口の増加や都市化により、生活排水や工場排水の流入と、閉鎖性の内湾であるため、汚泥が堆積しやすく、水・底質が悪化していた。 そのため、浦戸湾の水・底質の改善を図るため、自然生態にやさしい海域環境の創造と親水性の高い海域空間の創出を目指し、海域環境創造事業(シーブルー事業)を実施したものである。		
主な事業箇所と内容	横浜地区:汚濁底泥浚渫(浚渫厚1m)、覆砂工法(覆砂厚50cm)		
事業の効果	事業実施後のモニタリング調査により、有機性汚濁の指標となるCOD値が低下傾向になるとともに、底質からの溶出速度でCOD、栄養塩類(T-N・T-P)の低下傾向がみられた。		

【参照】

URL	—
参考文献	第31回管内工事施工技術研究会資料「高知港浦戸湾内横浜地区における海域環境創造事業について」



【事業の概要】

事業名	高知港海岸局部改良事業		
実施主体	高知県	事業年度	平成4～10年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 自然海岸)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	高知港桂浜		
連携機関	—		
事業の概要	景勝地桂浜で要である竜王岬及び龍頭岬について、波浪等による老朽化、崩落の危険があったため、GRC製の造景岩パネルを型枠兼用の被覆材として用いた海岸突堤・護岸工事を実施したものである。		
主な事業箇所と内容	竜王岬、龍頭岬：擬岩ブロック、擬岩パネルによる突堤工、護岸工		
事業の効果	自然環境の保全と防災機能の強化を両立した自然海岸での施工事例となった。		

【参照】

URL	—
参考文献	高知港海岸局部改良事業工事報告、パンフレット

【概要図等】



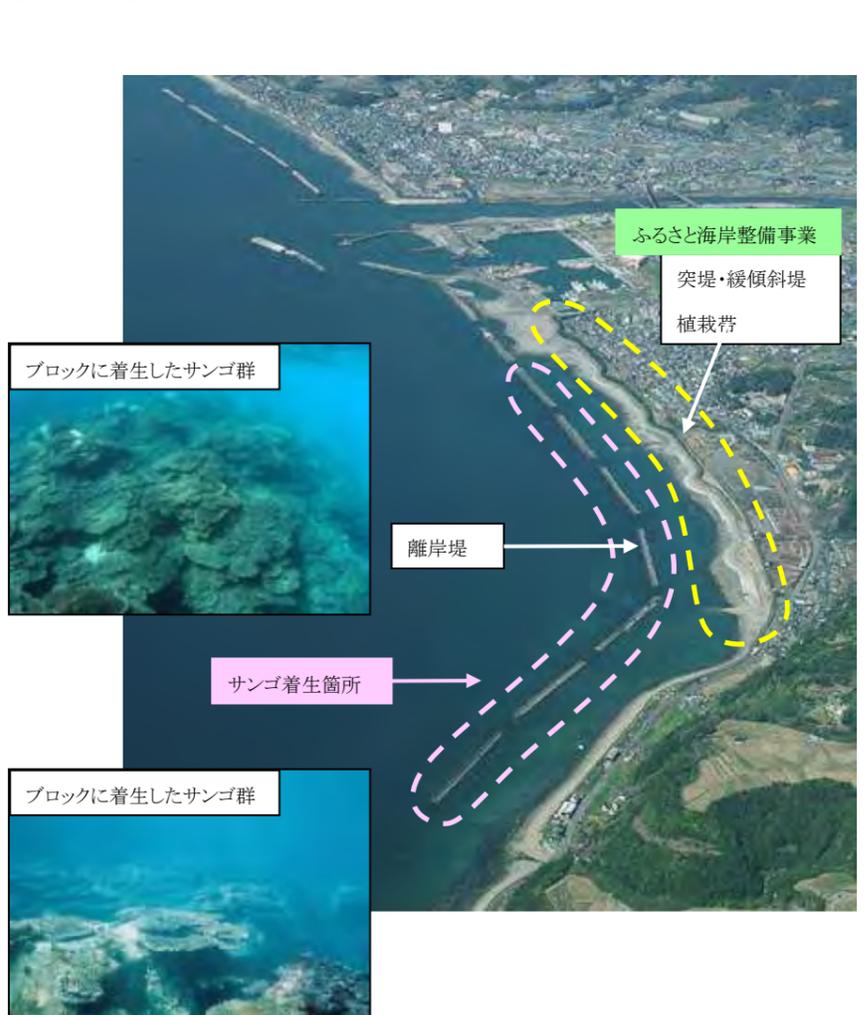
【事業の概要】

事業名	奈半利港ふるさと海岸整備事業		
実施主体	高知県	事業年度	平成4～19年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種: サンゴ)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	奈半利港海岸 奈半利地区		
連携機関	地域住民		
事業の概要	奈半利海岸では、昭和50年頃より砂浜減少の対策として離岸堤などの整備を進めてきたが、離岸堤にサンゴが着生し、以後離岸堤の設置とともにサンゴが付着するようになっていく。 国土交通省、高知県土木部、奈半利町で平成4年2月に「奈半利港ふるさと海岸モデル事業」を策定し、調査委員会を設立、また地域住民からなる「奈半利のふるさと海岸を考える会」からの要望事項を検討整理し、奈半利海岸地区に離岸堤、突堤、緩傾斜堤、及び飛沫防止植栽帯などの整備を進めている。		
主な事業箇所と内容	奈半利港海岸：離岸堤工、突堤工、緩傾斜堤工、植栽帯工		
事業の効果	防災機能の強化と海岸へのアクセスや環境に優れた施工事例となった。		

【参照】

URL	—
参考文献	土木学会誌 vol. 88、No. 8「高知県奈半利港海岸の離岸堤にサンゴの群生」

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	羽根坂本海岸エコ・コースト事業		
実施主体	高知県	事業年度	平成9～15年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：ウミガメ他)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	羽根坂本海岸(高知県室戸市)		
連携機関	—		
事業の概要	羽根坂本海岸では、市民による海岸一斉清掃や、小学校の自然学習として行われているウミガメの愛護活動など、海岸愛護の取り組みが積極的に行われている。 このような活動に配慮し、生物に良好な生息環境、美しい自然環境を保全する海岸づくりをエコ・コースト事業として実践している。		
主な事業箇所と内容	羽根坂本海岸：侵食対策事業(人工リーフ工)		
事業の効果	人工リーフ施工により砂浜の回復が図られ、途絶えていたウミガメの上陸も期待される。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/gaiyou/zigyoushizen/shizen.html
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	どんぐりの森in 田井ノ浜		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成17～18年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：のり面の緑化)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	一般国道55号日和佐道路		
連携機関	美波町、阿南市、徳島県		
事業の概要	日和佐道路は計画地が山間部を通り山谷を切り開いての工事となるため、幼苗植栽などの活用を通して道路事業への理解を深めると同時に、豊かな自然の大切さを感じ取ってもらうために、地域住民が周辺地域のどんぐりをポットに植えて1年半の間里親として育て、そのポット苗を日和佐道路に植栽したものである。本取組は、国土交通省が全国12箇所で行っている森つくるマップの一つに登録されている。		
主な事業箇所と内容	徳島県海部郡美波町由岐IC付近：土壌改良及び植樹		
事業の効果	日和佐道路開通前の記念事業として植樹祭が催され、約2,000人もの参加者によって、24種19,000本のポット苗、約4,000粒のどんぐりが日和佐道路の法面約1haに植樹された。		

【参照】

URL	http://www.toku-mlit.go.jp/road/d/don/index.html
参考文献	「四国技報」第7巻13号

【概要図等】

表-1 植栽樹種リスト(全24種 約19,000本)

樹木名	種類	樹木名	種類	樹木名	種類
アセビ	ツツジ科 アセビ属	ササノカ	ツバキ科 ツバキ属	スズミヅ	モクセイ科 イボク属
アラカシ	ブナ科 コナラ属	スタジイ	ブナ科 シイ属	ハマササキ	ツバキ科 ツバキ属
イロハモミジ	カエデ科 カエデ属	シキミ	シキミ科 シキミ属	ホトノキ	ホトノキ科 ホトノキ属
ウバカシ	ブナ科 コナラ属	シラカシ	ブナ科 コナラ属	マサキ	ニシキキ科 ニシキキ属
ウランコカシ	ブナ科 コナラ属	シャリンハイ	バラ科 シャリンハイ属	モチノキ	モチノキ科 モチノキ属
カクレミノ	ウコキ科 カクレミノ属	タブノキ	クスノキ科 タブノキ属	ヤブツバキ	ツバキ科 ツバキ属
カコノキ	クスノキ科 ハマビロ属	トハラ	トハラ科 トハラ属	ヤマザクラ	バラ科 サクラ属
クロカネモチ	モチノキ科 モチノキ属	ツクバネカシ	ブナ科 コナラ属	ヤマモモ	ヤマモモ科 ヤマモモ属



写真-4 植樹作業風景①



写真-5 植樹作業風景②



写真-10 H19.6.20 現在の生育状況

【事業の概要】

事業名	一般国道319号道路改築事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成19年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象:緑の保全)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	一般国道319号(徳島県三好市山城町大川持～三好市山城町小川谷)		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、急峻な山間部に位置する現道を拡幅する工事であるため、大規模な切土や盛土が必要となり、多くの動植物の生息環境に多大な影響を与えるとともに、本箇所が地すべり防止区域内の道路工事であったことから、新たな地すべりの誘発も懸念された。 このため、本事業では、工法を選定するにあたり、経済性の検討に加え、これら影響を考慮した軽量盛土工、棧道橋等の工法を採用し、森林の消失面積低減や河川形状の変更を回避するための施工幅の最小限化に努めた改良工事を実施した。		
主な事業箇所と内容	一般国道319号(徳島県三好市山城町大川持～三好市山城町小川谷)：道路拡幅工事		
事業の効果	可能な範囲で施工幅を最小限にし、自然環境への負荷を軽減することができた。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【概要図等】



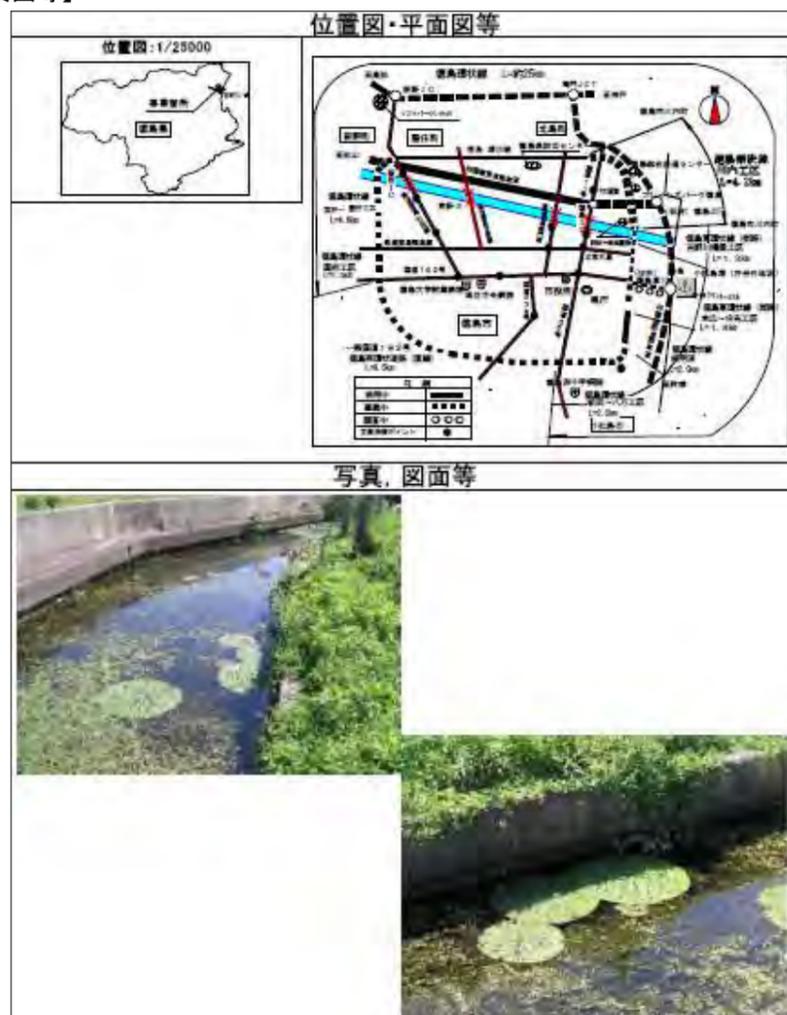
【事業の概要】

事業名	徳島環状線整備事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成18年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象:オニバス)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	徳島環状線(徳島県徳島市川内町)		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、徳島市中心部及び周辺部における幹線道路の交通渋滞緩和、また地域の活性化、利便性の向上等を目的とする外環状道路の一区間として事業を実施したものである。 事業に際し、建設残土の有効利用、無振動工法による振動の抑制等を実施するとともに、希少動植物の生息・生育地の保全として、希少植物の保全、生態系調査によるその他希少種の確認を実施し、オニバスの種子の保全を行った。		
主な事業箇所と内容	徳島環状線(徳島県徳島市川内町4.2km)：道路整備		
事業の効果	希少植物(オニバス)の種子の移植を行い、移植先において種子を保全することができた。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

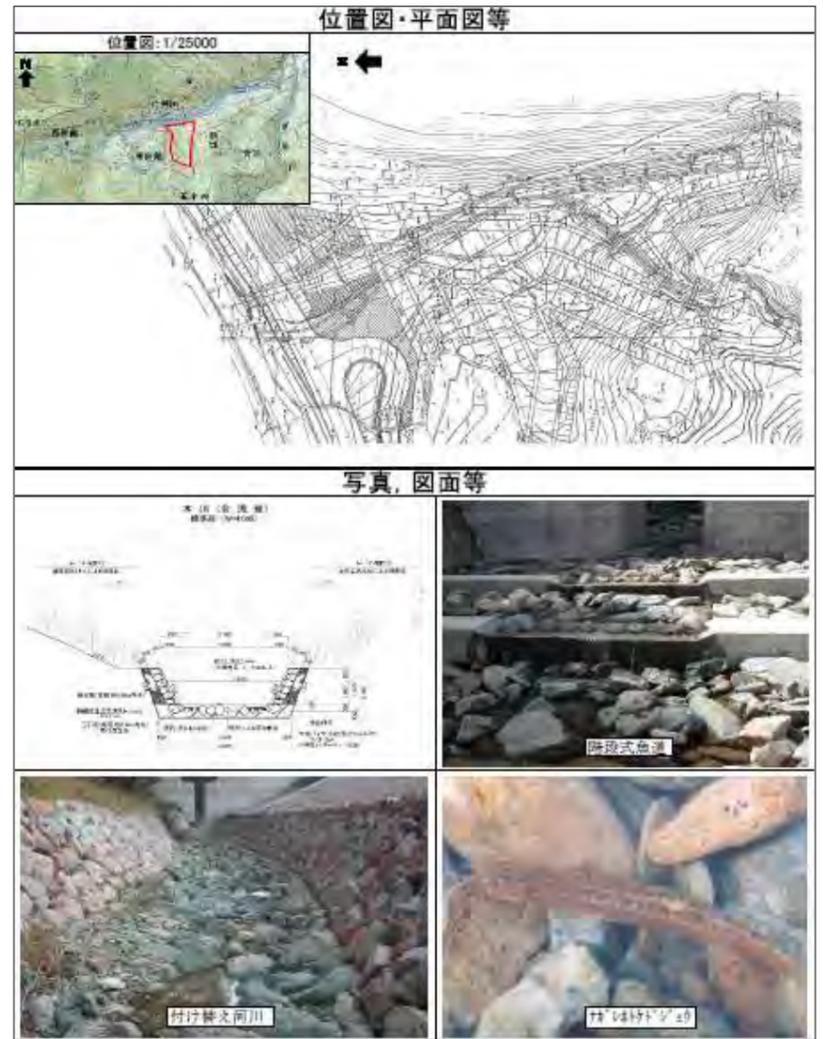
【概要図等】



【事業の概要】

事業名	一般国道 438 号道路改良事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成 13～16 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input type="checkbox"/> 生態系全般 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種：ナガレホトケドジョウ他)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	国道 438 号(徳島県名東郡佐那河内村～名西郡神山町)		
連携機関	—		
事業の概要	<p>本事業は、国道438号の名東郡佐那河内村から名西郡神山町間にある幅員狭小、線形不良の隘路を解消し、安全で円滑な通行の確保のため、バイパスによる道路改良事業を実施したものである。</p> <p>事業地域であるトンネル残土処理場において、徳島県版レッドデータブック掲載種であるナガレホトケドジョウ、ナンカイアオイ、エビネの生息・生育が確認されたため、工事影響範囲外へナガレホトケドジョウ等を移動させ、モニタリング調査を3年間行い、詳細な生態データを得た。このデータを基に、平成16年度に付け替え河川工事(多自然型河川)を実施、完了した。</p>		
主な事業箇所と内容	国道 438 号(徳島県名東郡佐那河内村～名西郡神山町) 4km : 道路改良事業、付替河川工事		
事業の効果	事業完了後も、モニタリング調査により、ナガレホトケドジョウの生息状況の確認、生息環境の分析を実施している。		

【概要図等】



【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【事業の概要】

事業名	府中湖PAビオトープ整備事業		
実施主体	西日本高速道路(株)	事業年度	平成 9 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：鳥類、昆虫類他)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	高松自動車道府中湖PA(香川県坂出市)		
連携機関	—		
事業の概要	<p>地域の自然の復元や生物の多様性の確保のため、ドイツを始めとしてヨーロッパでは広く考えられているビオトープの設置やのり面樹林化に取り組んでおり、PA内の「びおっと・府中湖」では、この地域の樹林を種から育て、手入れを最小限として自然のままの森づくりを行っている。</p>		
主な事業箇所と内容	・ビオトープ整備		
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・種から育てた樹木は順調に生育。コナラ等新たに進入(繁殖)している樹木もある。 ・水域内も水草の自然発生が進み自然環境の多様性に富んだ状態となっている。 ・ビオトープ内で多くの鳥類、昆虫類が確認されている。 		

【概要図等】



【参照】

URL	http://corp.w-nexco.co.jp/activity/overview/business/shikoku/pdfs/shikoku04.pdf
参考文献	「道路と自然」106・'00 冬号

【事業の概要】

事業名	内子エコロード事業		
実施主体	愛媛県	事業年度	平成6～11年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 小動物、昆虫類)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	喜多郡内子町中川		
連携機関	—		
事業の概要	道路改良工事を進めるにあたり、周辺の生態系に配慮した道路整備を行うため、エコロード(動植物に配慮し、生態系にやさしい工法)として、緩勾配の石張側溝及び皿形側溝の設置した。 道路の路側に設置される側溝は、小動物や虫が落下すると自力で脱出できないため、山側切土部と谷川盛土部の排水路においては、傾斜が緩やかな動物や虫の移動を助ける円形の構造とした。また、昆虫類、小動物の移動が容易であり草が生育可能な石張側溝及び皿形側溝を設置した。		
主な事業箇所と内容	石張側溝、皿形側溝		
事業の効果	草が生育し、周囲との景観の調和が良く、昆虫類、小動物などの生態系にやさしい空間が保たれている。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyoku/080shizenhogo/00006238050323/html/case.html
参考文献	—

【概要図等】

【事業の概要】

事業名	南部健康運動公園ビオトープ整備事業		
実施主体	徳島県	事業年度	平成17～18年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種: 池や水路に生息する生物)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	徳島県阿南市		
連携機関	—		
事業の概要	南部健康運動公園(約70ha)は県南部の阿南市に位置し、従来の競技施設を主体とするのではなく公園のテーマを「健康」に置き自然の中で自分のペースで、しかもみんなで楽しくできるスポーツの場を主体として子供からお年寄りまでが気軽に楽しく「健康づくり」ができる公園を目指している。 整備にあたり、隣接する桑野川がミサゴの採餌場になっている可能性があるため、濁水流出による魚類の減少を抑えるために、濁水処理施設を設置するとともに、園内にビオトープ水路及びビオトープ池の整備を行った。		
主な事業箇所と内容	ビオトープ水路及びビオトープ池整備		
事業の効果	ビオトープ水路等の整備により、野生動植物の育成空間の保全が図られる。		

【参照】

URL	http://www.pref.tokushima.jp/generaladmin.nsf/topics/7ACDF4E7FE86A0A6492571B000257428?opendocument
参考文献	—

【概要図等】

【事業の概要】

事業名	国営讃岐まんのう公園自然生態園整備事業		
実施主体	国土交通省	事業年度	平成12～14年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種：湿地に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	国営讃岐まんのう公園(香川県仲多度郡まんのう町)		
連携機関	市民ボランティア		
事業の概要	自然生態園は国営讃岐まんのう公園自然活用ゾーン内に整備されたエリアであり、森林とため池、及び湿地とが一体となった生きものの生息環境が残存し、絶滅危惧種を含む多様な生きものが生息、生育している。 そのため、讃岐地方の懐かしい古里の風景”ため池のある里山”を復元したフィールドミュージアムとして、整備が実施されており、総面積は15.6haになる。		
主な事業箇所と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自然生態観察園整備 ・自然生態展示館整備 		
事業の効果	ボランティア等によるモニタリングが実施されており、維持・管理については、モニタリングやモニタリング結果を受けての水質改善作業(貧栄養化のための落ち葉除去など)により、絶滅危惧種を含む利活用種の個体数、開花数は全体的に維持または増加傾向にある。		

【参照】

URL	http://www.mannoukouen.go.jp/
参考文献	平成20年度事業評価監視委員会資料、2008事業概要

【概要図等】



自然生態園



【事業の概要】

事業名	久万笛ヶ滝公園自然観察園整備事業		
実施主体	愛媛県久万高原町	事業年度	平成13～14年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> 都市関連事業 <input type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象種：湿地に生息する生物)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	愛媛県上浮穴郡久万高原町上野尻		
連携機関	—		
事業の概要	本事業は、「自然に学ぶ」というテーマのもと、自然教育に利用できる空間の創造を図ったものである。 自然観察園計画地が水田であったため、この機能上の利点を活かして湿地植物を栽培し、八つ橋等を配した湿地植物園を造ることとした。 また、施工にあたっては、緩やかな石積土羽の棚田形状をそのまま残し、擁壁施工も当時石積土羽に使われていた石を利用した。これにより、機能・土地形状・外観等に既存の状態を可能な限り維持することが出来た。		
主な事業箇所と内容	愛媛県上浮穴郡久万高原町上野尻：自然観察園整備		
事業の効果	既存の土地形状とその機能等に大きな変化を与えていないため、周囲に対する悪影響は現在のところ見られない。		

【参照】

URL	http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/080shizenhogo/00006238050323/pdf/case/020.pdf
参考文献	—

【概要図等】



自然観察園施工前



自然観察園施工後



【事業の概要】

事業名	黒谷川桜づつみモデル事業		
実施主体	徳島県、板野町	事業年度	平成 13 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	黒谷川(徳島県板野郡板野町)		
連携機関	—		
事業の概要	<p>人々の心と健康づくりがテーマの黒谷川沿いの「田園パーク」の公園整備との調整を図りながら一体的に整備を実施したもので、桜づつみをグラウンド観覧用芝生スタンドとして整備するとともに、管理用道路を遊歩道として整備している。</p> <p>徳島県板野町の田園地帯に芝生を張り詰めた多目的グラウンドや町民スポーツガーデン、健康の館、そして桜づつみが整備されている。</p>		
主な事業箇所と内容	桜づつみ整備：延長 230m		
事業の効果	町民の健康づくりや憩いの場として利用されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/gaiyou/syokai/kurotani.pdf
参考文献	—

【概要図等】



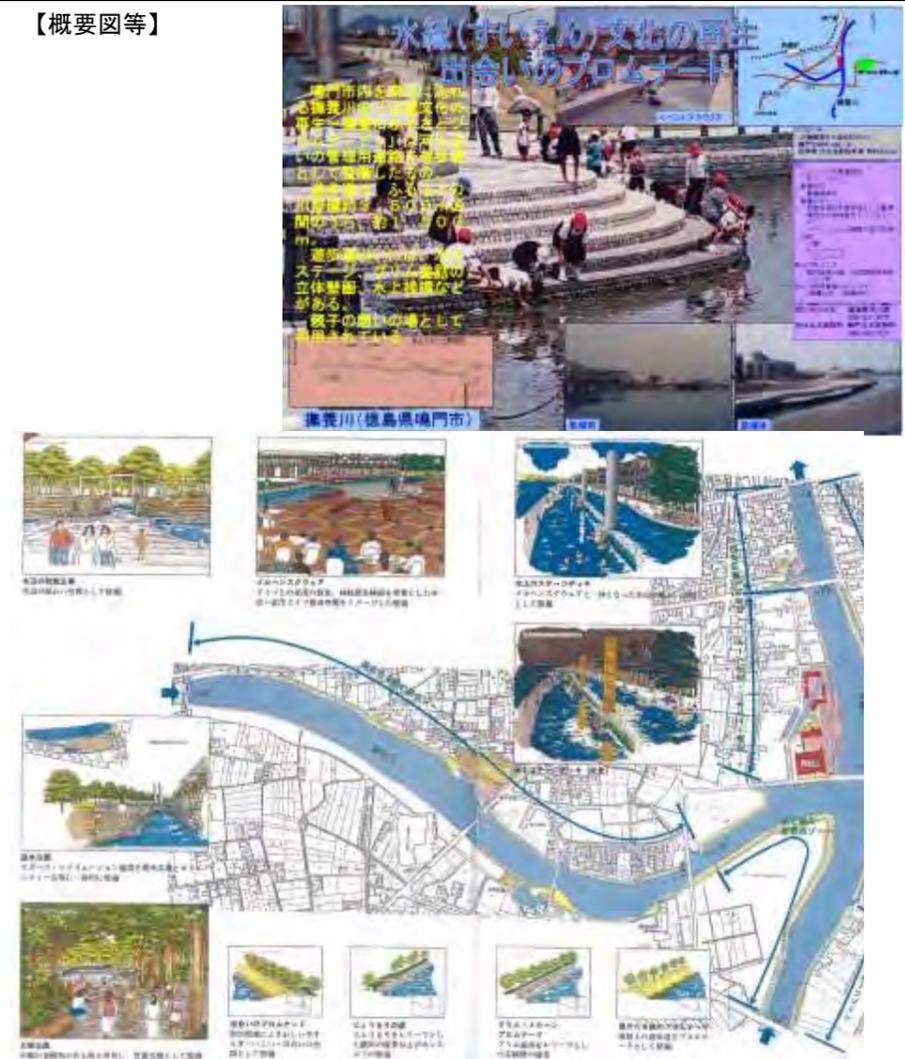
【事業の概要】

事業名	撫養川ふるさとの川整備事業		
実施主体	徳島県、鳴門市	事業年度	昭和 63 年度～継続中
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	撫養川、新池川		
連携機関	地元住民		
事業の概要	<p>撫養川が「ふるさとの川モデル河川」に指定されたことにより、撫養川と新池川の合流部を中心に、地元の鳴門市が公園部分を、河川管理者の徳島県が河川部分を、一体的に整備したものである。</p> <p>この施設の整備にあたっては、撫養川・新池川水辺空間整備計画検討委員会において整備計画を策定し、「水上ステージ」や、グリム童話の場面を再現した石の立体壁面を配置している「グリメルヘンプロムナード」など趣向を凝らした施設を整備している。</p> <p>遊歩道は、ふるさとの川整備約 3,500m 区間のうち、約 1,500m で、遊歩道沿いには、水上ステージ、グリム童話の立体壁面、水上栈橋などが整備されている。</p>		
主な事業箇所と内容	撫養川・新池川合流点：出会いのプロムナード、撫養川親水公園、東浜第 2 公園		
事業の効果	親子の憩いの場として利用されている。		

【参照】

URL	http://www.city.naruto.tokushima.jp/contents/park/park.html http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/gaiyou/syokai/muya.pdf
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	吉野川河畔ふれあい広場整備事業		
実施主体	国土交通省、美馬市	事業年度	平成16～21年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	吉野川(徳島県美馬市美馬町字境目)		
連携機関	NPO 法人美馬体験交流会		
事業の概要	堤内に隣接してオートキャンプ場が開園し、その前面の高水敷も整備され、利用が頻繁に行われている。また、本箇所の利用計画については、美馬市が市民団体と協力して、美馬町中島地区土地利用構想を策定するなど、積極的な活動があり、「子どもの水辺」の設置に至った。その後、子どもの水辺協議会において「水辺の楽校」として整備する事が決定し、国土交通省が河岸整備を行い、美馬市が施設整備を実施した。		
主な事業箇所と内容	河川環境整備事業: 吉野川左岸・河口より58.0km		
事業の効果	パークゴルフ, 野球, サッカー, テニス, キャンプ, 散策, 釣り等のスポーツ大会や、散策・竹細工作り等の自然体験活動に利用されている。		

【参照】

URL	http://www.toku-mlit.go.jp/river/river_index.html http://www.city.mima.lg.jp/4/64/000075.html
参考文献	—

【概要図等】



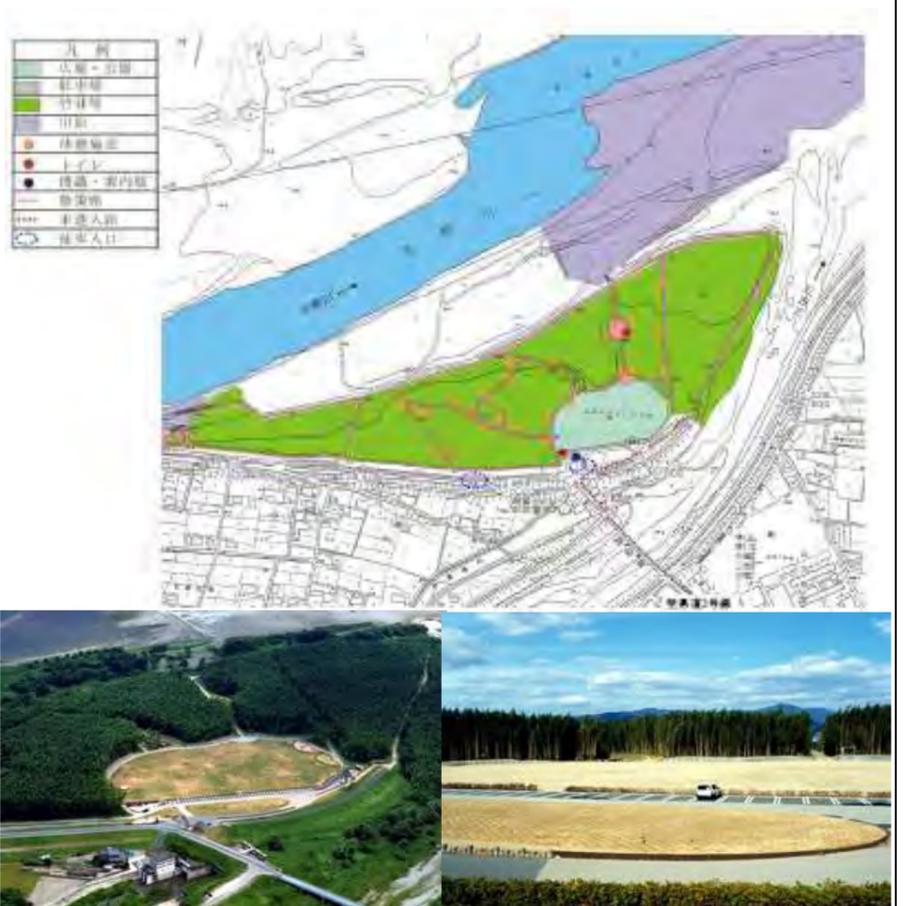
【事業の概要】

事業名	山川バンブーパーク (水辺の楽校)		
実施主体	国土交通省、吉野川市	事業年度	平成10～13年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 環境教育)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	吉野川(吉野川市山川町(旧山川町)字前川地先)		
連携機関	地元ボランティア団体等		
事業の概要	平成10年6月に水辺の楽校プロジェクトに登録された。整備にあたり、「遊び」「体験」「学習」を基本テーマとして整備計画を策定し、「エントランスゾーン」「学習イベントゾーン」「自然観察ゾーン」「水辺ゾーン」の4つのエリアの整備を行ったものである。国土交通省が河岸整備を行い、吉野川市が施設整備を実施した。		
主な事業箇所と内容	河川環境整備事業: 吉野川右岸37.0km付近		
事業の効果	多目的広場においてはグランドゴルフ大会やクロスカントリーなどスポーツ等が行われており、敷地内の竹林や遊歩道・河川敷を利用した散策等も行われている。		

【参照】

URL	http://www.toku-mlit.go.jp/river/shiraberu/tushinbo/tushinbo.htm
参考文献	「四国技報」創刊号

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	ぶぶるパークみかも（水辺の楽校）		
実施主体	国土交通省、東みよし町	事業年度	平成13～17年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象：環境教育）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input checked="" type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	吉野川（三好郡東みよし町（旧三加茂町）地先）		
連携機関	地元ボランティア団体等		
事業の概要	年間を通じて豊かな自然環境が残る加茂地先付近の水防林及びその周辺の河川敷を活用し、子どもたちがその中で「学ぶ」「遊ぶ」「作る」ことを通し、自然に親しみ、理解し、大切にする心を養い、健全な成長に寄与すると共に次世代の地域づくりの担い手となる事を目的としている。国土交通省が河岸整備を行い、東みよし町が施設整備を実施した。		
主な事業箇所と内容	河口より64.0km右岸：河川環境整備事業		
事業の効果	パークゴルフ，サッカー，釣りなどのスポーツや、散策，魚つかみなどの自然体験活動が催されている。		

【参照】

URL	・ http://www.toku-mlit.go.jp/river/shiraberu/tushinbo/tushinbo.htm ・ http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/shisetsu/bunkasports/buburu.html
参考文献	—

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	桑野川水辺ネットワーク（水辺プラザ整備）事業		
実施主体	国土交通省、阿南市	事業年度	平成18年度～実施中
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 （主な対象種：自然とのふれあい）		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域（流域や自治体単位等） <input type="checkbox"/> 狭域（地区・箇所単位等）		
対象区域	那賀川水系桑野川・富岡橋上下流の4k/600から5k/300付近		
連携機関	—		
事業の概要	桑野川におけるレクリエーション、イベント、環境教育等の拠点をネットワーク化した整備を実施することとしており、阿南市「光のまちづくり」と連携し、市街地と河川空間、親水拠点をつなげることで地域交流・世代交流の活性化を図り、地域の歴史や文化と融合した「かわまちづくり」を推進している。 本事業では、浜の浦公園整備を国土交通省、浜の浦児童公園整備を阿南市が実施し、「光」と「水辺」の2つのコンセプトを持つ「水辺プラザ」として一体的に整備している。		
主な事業箇所と内容	・浜の浦公園：親水護岸、散策道等 ・桑野川フラワーロード		
事業の効果	水辺プラザとしての登録を受け、現在浜の浦公園整備を実施中である。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/nakagawa/
参考文献	桑野川水辺プラザ浜の浦整備計画（四国地方整備局、阿南市）、那賀川河川事務所2008事業概要

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	Doki! 土器パーク (飯山水辺の楽校)		
実施主体	国土交通省、丸亀市 (旧飯山町)	事業年度	平成 14~16 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 環境教育)		
実施目的	<input checked="" type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域 (流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域 (地区・箇所単位等)		
対象区域	土器川高柳地先		
連携機関	—		
事業の概要	土器川の高柳地区において、「まちの水辺、自然とのふれあい、出水メモリアルパーク」をテーマに、郷土の治水・利水の史跡を生かした自然とふれあえる空間、体験学習の場として、また、土器川河川敷公園や土器川生物公園などの流域交流ネットワークの拠点の一つとして旧飯山町と協力して整備したものである。平成 14 年 1 月 31 日に水辺の楽校プロジェクトに登録され、平成 17 年 2 月 15 日に開校している。		
主な事業箇所と内容	土器川右岸 6k800~7k200 付近 ・公園や堤防の基盤整備: 国土交通省 ・基盤より上の施設整備: 旧飯山町		
事業の効果	土器川河川敷公園や土器川生物公園等とネットワークを組み、子供たちが楽しく河川環境のことを学べる中心的な施設として活用されている。		

【参照】

U R L	—
参考文献	事業概要 2009、「四国技報」第 3 巻 5 号

【概要図等】

The overview section includes several photographs and a project diagram. The photos show the park's landscape, children playing, and school activities. The diagram, titled '丸亀市飯山町水辺の楽校プロジェクト' (Matsuyama City Iihama Town Water's Joy School Project), details the project's goals and components. It is divided into '国土交通省整備' (Ministry-led) and '丸亀市飯山町整備' (Municipality-led) sections. The Ministry section includes '新たな水辺の創出 (ウォーターランド整備)' (Creation of new waterfronts), '土器川河川敷整備' (Riverbank improvement), and '治水機能の強化' (Strengthening flood control). The Municipality section includes '既存の水辺の活用 (治水用堤防整備)' (Use of existing waterfronts), '遊憩のための施設整備' (Facility improvement for recreation), and '治水のための施設整備' (Facility improvement for flood control). A central goal is '土器川の水辺を元気にする' (Revitalize the waterfront of Toki River). The diagram also lists participating organizations like '旧飯山町土器川公園' and '土器川生物公園'.

【事業の概要】

事業名	小田川ふるさとの川モデル事業		
実施主体	愛媛県、内子町	事業年度	平成元~8 年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象: 自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域 (流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域 (地区・箇所単位等)		
対象区域	小田川 (愛媛県喜多郡内子町)		
連携機関	—		
事業の概要	小田川は肱川の支流で、四百年の伝統を誇る大風合戦の舞台として知られるほか、流域では清流を利用した手すき和紙が産出されるなど伝統文化発祥の地である。 この小田川を中心としたまちづくりの一環として、良好な水辺空間を形成するため、平成元年度から平成 8 年度までふるさとの川モデル事業により、山王橋から上流竜宮堰までの 2.1 km 区間の河川敷を「野っばら・田園ゾーン」「スポーツ・レクリエーションゾーン」「親水ゾーン」「イベント・レクリエーションゾーン」に分けて、河川改修と合わせた「多自然型川づくり」を実施した。		
主な事業箇所と内容	小田川 (山王橋から上流竜宮堰までの 2.1 km 区間) : 河川改修		
事業の効果	毎年 5 月 5 日には河川敷を利用して、日本三大風合戦の一つである「五十崎大風合戦」が行われるなど、観光資源として利用が図られている。		

【参照】

U R L	http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/gaiyou/syokai/oda.pdf http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/kankosyakaisihon/88/3806.pdf
参考文献	—

【概要図等】

The overview section features three photographs with descriptive captions. The top photo shows a wide river view with the caption: 「スポーツ・レクリエーションゾーン」の整備状況。イベント広場やスポーツ広場として多くの人に利用されています。 (Status of improvement for the 'Sports & Recreation Zone'. It is used by many people as an event plaza and sports plaza.) The middle photo shows a riverbank with the caption: 「野っばら・田園ゾーン」の整備状況。生物の良好な生息・生育環境の保全・復元に配慮した河川整備を行っています。 (Status of improvement for the 'Wilderness & Farmland Zone'. We are conducting river improvement with consideration for the preservation and restoration of a good living and growing environment for organisms.) The bottom photo shows a crowd of people with the caption: 「イベント・レクリエーションゾーン」で行われている「五十崎大風合戦」 (The 'Ishizaki Taifuu Gassen' is held in the 'Event & Recreation Zone'). Another photo shows children with the caption: 「親水ゾーン」で野外活動中の小学生 (Elementary school students are engaged in outdoor activities in the 'Water-friendly Zone').

【事業の概要】

事業名	肱川水辺プラザ整備事業		
実施主体	国土交通省、大洲市	事業年度	平成20年度～実施中
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	肱川、矢落川合流部の高水敷(畑の前地区)		
連携機関	大洲農業高校、大洲青少年交流の家		
事業の概要	<p>地元高校が主催している菜の花フェスタやカヌー利用等における利便性の向上を図るとともに、河畔林、ナゲなどを活用した総合学習の場として整備し、人が集い、自然と歴史・文化にふれあえるにぎわいの水辺空間づくりを行うものである。</p> <p>また、隣接する堤内には、大洲市による住民の交流・活動及び冠水対策にも寄与する都市公園(大洲市ふれあいパーク)の整備が予定されており、魅力と活力ある地域形成の拠点として整備を行う予定である。</p>		
主な事業箇所と内容	護岸、階段、散策路等の基盤整備：国土交通省 芝生広場等の公園整備：大洲市		
事業の効果	現在、水辺プラザ事業の登録を受け、平成20年度より事業実施中である。		

【概要図等】



【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h20backnum/kasen/080401/river.pdf
参考文献	大洲河川国道事務所提供資料

【事業の概要】

事業名	宇治川ふるさとの川モデル事業		
実施主体	高知県、伊野町	事業年度	平成3～8年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input checked="" type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	仁淀川水系宇治川		
連携機関	—		
事業の概要	<p>豊かな自然と土佐和紙の伝統が息づく伊野町を流れる宇治川は、四国内ではいち早く、多様な自然を復元することを目指し「多自然型川づくり」を推進し、自然石、潜在植生による川づくりに着手しており、平成3年度からは「ふるさとの川整備事業」を実施している。</p> <p>低水路部護岸はフトンカゴを設置しフトンカゴの前面を自然石にするとともに、川底に直径5～10cmの砂利を敷設している。また、堤外地は潜在植物を移植している。</p>		
主な事業箇所と内容	宇治川(高知県伊野町約700m区間)：治水整備事業		
事業の効果	植生が順調に回復し、付近住民の散策の場となっている。また、近隣小学校の環境学習の場にもなっている。		

【概要図等】



【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kasen/gaiyou/syokai/uzi.pdf
参考文献	—

【事業の概要】

事業名	物部川ふるさとの川整備事業		
実施主体	国土交通省、南国市、香美市、香南市	事業年度	平成13年度～実施中
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input checked="" type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	物部川流域		
連携機関	流域市町村等		
事業の概要	<p>物部川は、「ふるさとの川整備河川」に指定されており、河川整備にあたっては河川本来の自然環境の保全創出や周辺環境との調和を図りつつ、市町村が行うまちづくりと一体となった、河川改修を行い良好な水辺空間の形成を図っている。</p> <p>流域をひとつの共同体として捉え、地域づくりと一体的な河川整備により、物部川を軸とした、ふれあい交流を促進し、誰もがふるさとの自然にふれあえる河川空間を創出しつつ、次世代を担う子供たちが楽しく遊び学べるものへの川づくりに取り組んでいる。</p>		
主な事業箇所と内容	香美市土佐山田町町田地先、南国市久枝地先、香南市吉川町吉原地先、香南市野市町深淵地先：拠点地区整備		
事業の効果	拠点地区整備がほぼ完了しており、今後、自然環境学習や地域交流の場としての活用を図る。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/river/monobe4.html
参考文献	高知河川国道事務所事業概要

【概要図等】



【事業の概要】

事業名	物部川桜づつみモデル事業		
実施主体	国土交通省、香南市	事業年度	平成5年度
事業分類	<input type="checkbox"/> 河川関連事業 <input type="checkbox"/> 港湾・海岸関連事業 <input type="checkbox"/> 道路関連事業 <input type="checkbox"/> 都市関連事業 <input checked="" type="checkbox"/> ふれあい・教育関連事業 <input type="checkbox"/> その他		
対象種別	<input checked="" type="checkbox"/> 生態系全般 <input type="checkbox"/> 特定の対象種が存在 (主な対象：自然とのふれあい)		
実施目的	<input type="checkbox"/> 自然の保全や再生 <input checked="" type="checkbox"/> 自然の創出 <input type="checkbox"/> 自然や生き物への配慮		
空間種別	<input type="checkbox"/> 広域(流域や自治体単位等) <input checked="" type="checkbox"/> 狭域(地区・箇所単位等)		
対象区域	物部川(香南市吉川町地先)		
連携機関	—		
事業の概要	<p>「物部川桜づつみモデル事業」は、堤防断面の強化と良好な水辺空間の創造を目的として、旧建設省及び旧吉川村の共同事業により、平成6年3月に完成した。</p> <p>また、桜づつみに隣接して「吉川村天然色劇場」(野外ステージ)が平成7年3月に完成、平成10年には「吉川フィッシャリーナ」が完成し、物部川流域の地域拠点交流施設となっている。</p>		
主な事業箇所と内容	物部川河口より0.2km付近左岸側：桜づつみ公園整備		
事業の効果	吉川村天然色劇場では、イベント等多くの人々に利用され、憩いの場が年間を通じて確保されている。		

【参照】

URL	http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/river/monobe4.html http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/river/monobeseibikekaku/index.html
参考文献	—

【概要図等】



桜づつみ公園
(河口より0.2km付近左岸側)

位置図



標準断面図